283
46

0051175001

0051175-001

２８３－４６

高知高等学校一覧

高知高等学校・編

高知高等学校

第５－１３年度（昭和２・３年－１０・１１年）

昭和２－１０

AHM

T 5K 22

283
46

高知高等學校

工 5K 22

283
46

高知高等學校一覽

（第五年度）

自昭和二年
至昭和三年

283-46

高知高等學校一覽　第五年度　自昭和二年四月　至昭和三年三月

目次

第一　沿革略……一
第二　學年曆……六
第三　學則……八
第一章　總則……八
第二章　學科課程及教授時數……八
第三章　學年學期式日及休業日……九
第四章　入學在學轉學休學退學及除名……一〇
第五章　懲戒……一五
第六章　課程ノ修了及卒業……一五
第七章　服制……一六
第八章　寄宿及通學……一六
第九章　檢定料入學料授業料寄宿料……一七

寄贈本

第四 教育綱領……二一〇
第五 細　則……二一〇
一 學則施行細則……二一〇
第一章 隨意科目及選擇科目……二一〇
第二章 入學在學轉學休學退學及除名……二一一
第三章 編　制……二一七
第四章 試驗修了及卒業……二一九
第五章 授業料及寄宿料……三七
第六章 服　制……三八
第七章 寄宿料……四一
第八章 通　學……四六
二 生徒心得……四六
三 校務分掌規程……五〇
四 評議員規程……六〇
五 文書處理規程……六〇

六 物品會計規程細則……六三
七 職員服務規程……七〇
八 圖書規程……七七
九 事務當直心得……八三
第六 職　員……八五
第七 前職員……九六
第八 生　徒……九九
一 生徒氏名……九九
二 生徒本籍府縣別表……一一六
三 生徒學曆別表……一二〇
第九 卒業生……一二一
一 卒業生……一二一
二 卒業生科別表……一三〇

第十　關係法規……
一　高等學校令（抄）……一三一
二　高等學校規程（抄）……一三一
三　文部省直轄諸學校官制（抄）……一三四
四　文部省直轄諸學校職員定員令（抄）……一五三
五　文部省直轄諸學校長職務規程……一五五
六　高等學校教員規程……一五六
七　帝國大學官立大學及文部省直轄諸學校雇外國人使用ニ關スル件……一五九
八　官立高等學校高等科入學者選拔試驗規程……一六九
九　高等學校高等科入學資格試驗規程……一七一
一〇　文部省直轄諸學校生徒ノ學校長ノ許可ナクシテ受ケタル他ノ直轄諸學校入學試驗無效ニ關スル件……一七三
一一　文部省直轄學校外國人特別入學規程……一七三
一二　臺灣人朝鮮人文部省直轄諸學校入學ハ外國人特別入學規程準用……一七五
一三　高等學校高等科學力檢定規程……一七五
一四　學生生徒兒童身體檢查規程（抄）……一七七
一五　學生生徒兒童身體檢查規程上ノ發育概評決定標準（抄）……一八二
一六　行幸啓ノ節學生生徒敬禮方……一八四
一七　徵兵事務條例附則第三項ニ依リ學校長ノ交付スル在學證明書ニ關スル規定……一八五

一　對抗競技ニ關スル申合事項……一八六
二　學校運動選手及運動競技會ニ關スル協定事項（大正十五年四月十五日參加決定）……一八八

附　錄

高知高等學校學友會會規……一九三

高知高等學校一覽

第一　沿革略

大正十一年　八月二十四日　勅令第三百九十一號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制ヲ改正セラレ本校ヲ設置セラル

仝　月　仝　日　勅令第三百九十二號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ヲ改正シ本校職員定員ヲ定メラル（校長一人教授九人書記四人）

仝　月　廿五日　文部省告示第五二二號ヲ以テ事務所ヲ當分ノ內文部省ニ置ク

大正十二年　九　月　六　日　文部事務官江部淳夫學校長ニ任セラル

一月十六日　文部省告示第三號ヲ以テ高知市内高知縣立高知城東中學校内ニ本校事務所ヲ置ク

三月三十一日　本校學則ヲ制定ス

四月九日　勅令第一六一號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ヲ改正シ本校職員定員中教授「九人」ヲ「十六人」ニ改メラル

仝　十二日　高知市江ノ口本校新築校舍ニ於テ事務取扱ヲ開始ス（文部省告示第三二〇號）

仝　十六日　本校第一回生徒入學宣誓式ヲ擧行ス

仝　十七日　本校授業ヲ開始ス

六月十二日　梨本宮殿下本校ニ御成アリ授業ヲ臺覽アラセラレ尚月桂樹ヲ御手植遊サル

十二月四日　學校長江部淳夫卒去

仝　日　教授鈴木卓苗學校長事務取扱ヲ被命

十二月二十二日　生徒控所新築竣工

大正十三年

一月二十二日　御眞影拜戴

二月五日　第六高等學校教授正五位勳四等内藤馬藏學校長ニ被任

仝　日　鈴木卓苗學校長事務取扱ヲ被免

三月二十二日　教育勅語謄本拜受

四月十一日　第二回入學宣誓式ヲ擧行ス

仝　十九日　寄宿寮新築竣工

仝　二十日　特別教室新築竣工

仝　二十八日　勅令第九十八號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ヲ改正シ本校職員定員中教授「十六人」ヲ「二十四人」ニ

書記「四人」ヲ「五人」ニ改メラレ新ニ助教授「二人」ヲ加ヘラル

五月五日　寄宿寮開寮シ生徒ヲ收容ス

十二月二十五日　學則施行細則中第四章試驗終了卒業ニ關スル規程及校務分掌規程ヲ改正ス

大正十四年

二月十日　講堂、書庫、柔劍道場、雨天體操場竣工

三月三十一日　學則中轉科轉類ニ關スル規程寄宿寮入寮規程授業料改正竝授業料寄宿料徵收規程改正

四月一日　勅令第八十一號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員ヲ改正シ本校職員定員中助教授「二人」ヲ「一人」ニ改メラル

仝十一日　圖書館開館

仝　日　第三回入學宣誓式ヲ擧行ス

仝　二十五日　勅令第百四十二號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ヲ改正シ本校職員定員中「教授二十四人」ヲ「三十人」ニ助教授一人」ヲ「四人」ニ書記「五人」ヲ「六人」ニ改メラル

七月六日　學則施行細則第二十三條理科評点科目表一部改正

十一月三日　開校式擧行、此ノ日ヲ以テ本校創立記念日トス

十二月十二日　御眞影奉安庫、温室竣工

仝　十六日　學則施行細則校務分掌規程第二章中ニ評議員規程ヲ追加

大正十五年

三月十二日　第一回卒業証書授與式擧行

四月十七日　第四回入學宣誓式擧行

仝　三十日　學則施行細則第三章編制規程中學級總代ノ會議ニ關

スル規程ヲ追加シ第二十四條理科評点科目表一部改正

十一月三日　校旗制定式擧行

仝　五日　學則施行細則第二章中第八條第四號ヲ改メ第四章中第二十五條第四號ヲ第五號ニ繰リ下ケ新ニ第四號追加

昭和二年

三月十四日　第二回卒業証書授與式擧行

四月十三日　學校長内藤馬藏依願免本官

仝　日　文部省督學官從四位勳四等西川順之學校長ニ被任

仝　十八日　第五回入學宣誓式擧行

第二學年暦

昭和二年

四月十日　春期休業終

仝　十四日　第一學期授業開始(第二學年、第三學年)

仝　十九日　第一學年授業開始

七月十日　第一學期授業終了

仝　十一日　夏期休業始

九月十日　夏期休業終

仝　十一日　第二學期授業開始

十一月三日　(創立記念日)休業

十二月二十四日　第二學期授業終了

仝　二十五日　冬期休業始

昭和三年

一月七日　冬期休業終

仝　八日　第三學期授業開始

三月十日
仝　十六日

第三學期授業終了
春期休業始

第三學

第一章　總則

第一條　本校ニ大正七年勅令第三百八十九號高等學校令及大正八年文部省令第八號高等學校規程ニ基ク高等科ヲ置ク

（大正十二年三月三十一日 文部大臣許可）

第二章　學科課程及教授時數

第二條　本校ノ學科課程及教授時數ハ高等學校規程ノ定ムル所ニ依ル

第三條　本校ノ外國語ハ英語及獨語トス其ノ類別左ノ如シ

文科甲類　英語ヲ第一外國語トスルモノ
文科乙類　獨語ヲ第一外國語トスルモノ
理科甲類　英語ヲ第一外國語トスルモノ
理科乙類　獨語ヲ第一外國語トスルモノ

第三章　學年、學期、式日及休業日

第四條　學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第五條　學年ヲ分チテ三學期トス

第一學期　四月一日ヨリ八月三十一日マテ
第二學期　九月一日ヨリ十二月三十一日マテ
第三學期　一月一日ヨリ三月三十一日マテ

第六條　式日ハ左ノ如シ

一　入學式（宣誓式）
一　三大節拜賀式
一　本校創立記念式
一　卒業式

第七條　休業日ハ左ノ如シ

一日　曜日

一大祭日祝日
一創立記念日
一夏期休業　七月十一日ヨリ九月十日マデ
一冬期休業　十二月二十五日ヨリ一月七日マテ
一春期休業　三月十六日ヨリ四月十日マテ

第四章　入學、在學、轉學、休學、退學及除名

第八條　入學ノ時期ハ學年ノ始トス
第九條　入學志願者ノ手續及選拔試驗ニ關スル規定ハ毎年別ニ之ヲ定ム
第十條　入學ノ許可ヲ得タルモノハ別ニ定ムル期間内ニ次ノ手續ヲ爲スヘシ
一宣誓ヲナスコト
二保証人二名連署ヲ以テ本校所定ノ在學証書ヲ差出スコト但保証人ハ一名ハ父兄トシ父兄ナキ者ハ之ニ代リテ其ノ責ニ任スヘキ者タルヘク一名ハ高知市又ハ高知市附近ニ定住シ一家計ヲ立ツル成年ノ男子タルヘシ
三履歷書及戸籍謄本ヲ差出スコト
前項ノ手續ヲ爲ササル者ニ對シテハ入學ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ
第十一條　在學ノマヽ・志願ニ依リ一箇年間陸軍現役ニ服セントスル者ハ保證人連署ヲ以テ豫メ本校ニ届出ツヘシ
第十二條　在學ノマヽ・他ノ高等學校又ハ其ノ他ノ學校ニ入學ヲ出願セントスル者ハ保證人連署ヲ以テ豫メ本校ノ許可ヲ受クヘシ
前項ニ依リ他ノ學校ニ入學ヲ許サレタル者ハ其ノ入學期日前ニ於テ
第十九條ニ依リ退學ノ手續ヲナスヘシ
第二學年以上ニ轉科、轉類ヲ願出ツル者アル時ハ缺員アル場合ニ限リ

特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

前項願書ニハ保證人連署スヘシ

前項ノ外轉科、轉類ニ關スル規定ハ細則ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

第十三條　在學中身分上ニ異動アルトキハ其ノ都度直ニ届出ツヘシ

但シ戸籍ニ關スル場合ハ戸籍抄本ヲ添附スヘシ

第十四條　轉學ハ關係高等學校長ノ協議ニヨリ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第十五條　疾病又ハ已ムヲ得サル事故ニ由リ三箇月以上修學スル能ハサル見込ノ者ニシテ其ノ事由ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以テ休學ヲ願出ツルトキハ詮議ノ上之ヲ許可スルコトアルヘシ

但シ疾病ノ場合ニハ醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

第十六條　陸軍又ハ海軍現役ニ服スル者若ハ召集ニ應スル者其ノ服役又ハ召集ノ間ハ休學トス

第十七條　休學ハ當該學年間ニ限ル但シ前條ニ依ルモノハ此限ニアラス

第十八條　第十五條ニヨリ休學ヲ許可シタル者ハ次學年ノ始ヨリ其ノ原學年ニ編入ス

第十六條ニ依リ休學シタル者ハ服役滿期又ハ召集解除後一箇月以内ニ於テ原學年ニ編入ス

第十九條　疾病又ハ已ムヲ得サル事故ニ由リ退學セントスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以テ願出ツヘシ

疾病ニ由ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

第二十條　願ニヨリ退學シタル者退學シタル時ヨリ一箇年以内ニ於テ再入學ヲ願出ツルトキハ第二學年以上ニ限リ詮議ノ上許可スルコトアルヘシ

第二十一條　左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ諭旨シテ退學ヲ願出テシ

ム

一學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

二性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

三引續キ一箇年以上出席セサルモノ

四正當ノ理由ナク又ハ屆出ヲナサスシテ引續キ一箇月以上出席セサル者

五出席常ナラサル者

第二十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ之ヲ除名ス

一引續キ二箇年間同一學年ニ在リテ猶進級又ハ卒業セサル者但兵役ノ爲メ同一學年ニ在ル年數ハ之ヲ算入セス

二前條ノ諭旨ノ後十五日ニ及フモ猶退學願ヲ差出ササル者

三授業料及寄宿料ノ滯納二週間ニ及フ者

四第十二條第一項ノ手續ヲ經スシテ他ノ學校ニ入學ヲ出願シタル者

第二十三條　退學又ハ除名ニ關シテハ臨機ノ取扱ヲ爲スコトアルヘシ

第五章　懲戒

第二十四條　校規命令又ハ訓育ノ趣旨ニ違背シ生徒タルノ本分ヲ失ヘリト認ムヘキ行爲アル者ハ學校長之ヲ懲戒ス懲戒ハ之ヲ分チテ戒飭停學及退校トス

退校ニ處セラレタル者ニ對シ情狀ニヨリテハ其ノ執行ヲ猶豫スルコトアルヘシ

第六章　課程ノ修了及卒業

第二十五條　各學年末ニ於テ生徒ノ學業成績ヲ考査シ其ノ學年課程ノ修了又ハ卒業ヲ定ム

第二十六條　各學年ノ課程修了ハ當該學年ニ於ケル（一）努力（二）平常成績（三）試驗成績ヲ考査シテ之ヲ定ム但シ學科目ノ種類ニヨリ試驗ヲ行ハサルコトアルヘシ

第二十七條　卒業成績ハ在學中ノ學業成績ヲ考査シテ之ヲ定ム
所定ノ全學科ヲ履修シ卒業シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第二十八條　試驗ハ臨時及定期ニ之ヲ行フ

第二十九條　學業成績ハ科目評點及平均評點ヲ以テ之ヲ表示シ各一百ヲ以テ最高トス

第三十條　成績考査並ニ試驗ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第七章　服制

第三十一條　生徒ハ本校所定ノ帽及服ヲ着用スヘシ

第三十二條　服制ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第八章　寄宿及通學

第三十三條　新ニ入學セル第一學年生徒ハ寄宿舍ニ入舍スヘキモノトス但シ本校ノ都合又ハ生徒願出ノ事情ニ依リ通學セシムルコトアルヘシ

第九章　檢定料、入學料、授業料、寄宿料

第三十四條　入學志願者ハ檢定料金五圓ヲ納付スヘシ

第三十五條　入學ノ許可ヲ得タル者ハ指定ノ期日マテニ入學料金參圓ヲ納付スヘシ
正當ノ事由ナク前項ノ手續ヲ了セサルモノニ對シテハ其ノ入學許可ヲ取消ス

第三十六條　授業料ハ一學年金六拾五圓寄宿料ハ一學年金貳拾圓トシ之ヲ左ノ三期ニ分チ每學期始業後五日以內ニ納付セシム

第一學期授業料　金貳拾五圓　寄宿料　金六圓
第二學期授業料　金貳拾五圓　寄宿料　金八圓
第三學期授業料　金拾五圓　寄寄料　金六圓

大正十三年度以前ニ於テ入學シタル者ノ授業料ハ一學年金五拾圓トシ之ヲ左ノ三期ニ分チ每學期始業後五日以內ニ納付セシム

第一學期　金貳拾圓
第二學期　金貳拾圓
第三學期　金拾　圓

第三十七條　寄宿料ハ本校寄舍ニ入寮セル者ニ限リ之ヲ徴収スルモノトス

第三十八條　中途退學セル者ニ對スル授業料ハ入學セル日ノ屬スル學期ノ分ヨリ之ヲ徴収ス

第十六條ニ依リ休學シタル者休學ノ事故止ミ中途課業ニ就キタルトキハ當該學期分ノ授業料ハ其ノ月分ヨリ之ヲ徴収ス

第三十九條　中途退學者ニ對スル授業料ハ退學ノ日ノ屬スル次ノ學期ノ分ヨリ之ヲ徴セス

第四十條　學期ノ中途寄宿寮ニ入寮セル者ニ對スル寄宿料ハ入寮セル日ノ屬スル月ヨリ起算シ月割トシテ之ヲ徴収ス

學期ノ中途退寮セルモノニ對シテハ當該學期ノ寄宿料ヲ徴収シ次ノ學期ノ分ヨリ之ヲ徴セス

第四十一條　授業料ハ缺席停學休學等ノ爲メニ之ヲ免除スルコトナシ但シ第十六條ニ依リ休學シタル者ニ對シテハ授業料徴収期ノ前ニ在リテハ次月分ヨリ其ノ後ニ在リテハ次學期分ヨリ之ヲ徴収セス

第四十二條　第三十八條第二項及第四十一條但書ノ場合ニ於ケル授業料ノ月割額ハ金六圓五拾錢（大正十三年度以前ニ入學シタル者ハ金五圓）トシ寄宿料ノ月割額ハ金貳圓トス但シ第一學期分授業料及寄宿料ノ月割額ニ關シテハ七月及八月ヲ算入セス

第四十三條　既納ノ檢定料入學料授業料及寄宿料ハ何等ノ事情アルモ之ヲ返付セス

第四十四條　授業料及寄宿料ノ滯納一週間以上ニ及フトキハ之ヲ保證人ニ催告シ更ニ一週間以上ニ及フ者ハ之ヲ除名ス

第四　教育綱領

一　自治協同ノ精神ニ依リ愛國奉公ノ實ヲ擧クルコト

一　質實剛健ノ氣宇ヲ持シ正義人道ヲ念トスルコト

一　獨創進取ノ習性ヲ養ヒ眞理ヘノ造詣ヲ期スルコト

第五　細則

一　學則施行細則

第一章　隨意科目及撰擇科目

第一條　各科各學年ヲ通シ第二外國語ハ隨意科目ナリト雖當分第一外國語ト同時ニ履修セシム

第二條　理科第三學年ノ數學(二)及圖畫(二)ト理科第三學年ノ植物及動物(講義二實驗二)トハ生徒ヲシテ其一ヲ撰擇セシム

第三條　前條ノ撰擇科目屆出ハ第二學年中ニ之ヲナスヘシ而シテ一旦選定シタル學科目ハ中途ニ於テ之ヲ變更スルコトヲ得サルモノトス

第二章　入學、在學、轉學、休學、退學及除名

第四條　高等學校高等科ニ入學シ得ル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當シ且ツ體格檢査ヲ受ケ之ニ合格シタル者タルヘシ

一　中學校第四學年ヲ修了シタル者

二　高等學校尋常科ヲ修了シタル者

三　高等學校高等科入學資格試驗檢定ニ合格シタル者

四　專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル者

五　文部大臣ニ於テ高等學校高等科ノ入學ニ關シ指定シタル者

六　文部大臣ニ於テ一般ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者

第五條　体格檢査ハ左ノ項目ニ就キ施行スルモノトス

(一)身長　(二)体重　(三)言語障害　(四)聽力及耳疾　(五)視力及眼疾　(六)其他ノ疾病　(七)畸形及不具癈疾

前記各項目ノ外必要ト認メタル事項ニ就テノ檢査ハ適宜之ヲ行フモノトス

第六條　体格檢査ノ結果ハ之ヲ發表セサルモノトス

第七條　高等科入學者選拔試驗ヲ行フトキハ大正八年文部省令第十四號ノ官立高等學校高等科入學者選拔試驗規程ニ據ル

第八條　學則第十條ニ依リ入學ノ許可ヲ得タル者ノ爲スヘキ手續及心得ヘキコト左ノ如シ

一宣誓ハ本校所定ノ帳簿並ニ木札ニ姓名ヲ自署シ宣誓式ニ於テ大要左ノ宣誓ヲナサシム

宣　誓

本校ニ入學ヲ許可セラレタルニ就テハ本校教育ノ精神ヲ體シ生徒タルノ本分ヲ守リ以テ所期ノ目的ヲ貫徹センコトヲ誓フ

生　等　一　同

二在學證書ノ樣式ハ左ノ通リ之ヲ定ム

在學證書（用紙美濃白紙）

三錢收入印紙　印

私儀今般御校ヘ入學御許可可相成候ニ付テハ在學中校則ヲ遵守可致ハ勿論學籍ヲ脫シ候後ト雖モ在學中ニ生シタル一切ノ義務ハ確實ニ履行可致候若シ違背致候節ハ連署者ニ於テ一切之ヲ引受可申依而證書如斯ニ候也

昭和　年　月　日

高知高等學校第　期入學生總代

氏　名

本籍　道府縣　番地

現住所　華族士族　戸主　男弟等

本人　何　某㊞

明治　年　月　日生

本籍　道府縣　廳　番地　華族　戸士族　業務

現住所　本人トノ關係

第一保證人　何　某㊞

年　月　日生

本籍　道府縣　廳　番地　華族　戸士族　業務

現住所　本人トノ關係

第二保證人　何　某㊞

年　月　日生

高知高等學校長　何　某殿

前文第二保證人　ハ成年以上ノ男子ニシテ本市町村內ニ於テ一家計ヲ立ツル者ニ相違無之候也

昭和　年　月　日　市町村長　何　某㊞

三保證人タル本校職員ニハ市町村長ノ奥書ヲ要セサルモノトス

四在學證書及履歷書ハ各正副二通ヲ戸籍謄本ハ一通ヲ差出スヘキモノトス

五學則第十條第二號ノ保證人ニ變動ヲ生シタル時ハ一週日以內ニ其ノ手續ヲナスヘシ

六保證人ノ住所ニ異動アリタル時ハ速ニ屆出ツヘシ又第二保證人ニ於テ旅行半年以上ニ亘ル時ハ相當代理人ヲ定メ連署ノ上之ヲ屆出ツヘシ

第九條　學則第十二條第三項ニヨリ轉科轉類セントスル者ハ四月十五日迄ニ保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ

轉科轉類ヲ許可スル場合ハ左ノ條件ニ依ルモノトス

一、轉科轉類ハ同學年若ハ其ノ以下ノ學年ニ限ル

一、第一學年ニ轉科轉類セントスル者ニハ入學選拔試驗ヲ受ケシム

一、第二學年以上ニ轉科轉類セントスル者ニハ缺員アル場合ニ限リ左ノ方法ニ依リ特ニ許可スルコトアルヘシ

(一)轉科轉類セントスル者ニ對シテハ從來ノ操行及學業成績ヲ參考シタル上檢定試驗ヲ課ス

檢定試驗ハ轉入セントスル科類ニ於ケル前學年以下ノ全學科目ニ付之ヲ課スルモノトス但シ轉科轉類セントスル者ノ既修シタル學科目ニシテ其ノ內容程度及毎週敎授時數ニ於テ同等以上ト認ムヘキ場合ハ當該學科目ニ限リ試驗ヲ課セサルコトヲ得

(二)轉科轉類ノ時期ハ學年ノ始トス

第十條　學則第十五條ニヨリ休學願出ノ者ニハ當該學期ノ授業料其ノ他ヲ完納セシメタル後詮議ノ上之ヲ許可スルモノトス其ノ場合ハ許可證ヲ下附スヘシ但シ學則第十六條ニヨル者ハ此限ニアラス

第十一條　凡テ休學明ケノ者ハ其ノ滿期前ニ夫々復校ノ打合セヲナスヘキモノトス

第十二條　疾病ニヨル休學者ノ復校ニハ校醫ノ健康診斷ヲ要スルモノトス

第十三條　學則第十九條ニヨル退學願出ノ者ニハ授業料其ノ他ヲ完納セシメタル後詮議ノ上之ヲ許可スルモノトス

第十四條　學則第二十一條各項第二十二條第一項及第二項ニヨル者ハ學則第二十條ノ願出ヲナスコトヲ得ス

第十五條　轉學休學退學除名ノ場合ニ於テハ保證人ニモ通告ス

第三章　編　制

第十六條　學級ハ第一學年ノ始ニ編制シ之ヲ組ト稱ス

組ハ三學年ヲ通シテ變更セサルヲ常例トス

第十七條　各學級ニ學級主任一名及學級總代二名（正副）ヲ置ク學級主任ハ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス

學級總代ハ各學級生徒ノ互選シタル正副各二名ノ候補者ニツキ學校長之ヲ命ス但シ第一學年ニアリテハ第一學期間ハ互選ニヨラスシテ學校長之ヲ命ス

第十八條　學級總代ハ學級主任ノ指導ノ下ニ其ノ學級ニ關スル諸般ノ要務ニ當ルモノトス

第十九條　學級總代ハ生徒監ノ召集ニ應シ會議ヲ開キ本校生徒ノ風紀ノ維持及肅正ニ任スルモノトス

第二十條　學級總代ノ互選及任命ハ各學年ノ始ニ於テ之ヲ行ヒ其ノ任期ハ其ノ學年間トス但シ第一學年ニアリテハ第二學期ノ始ニ於テ之ヲ行フ

第四章　試驗修了卒業

第二十一條　試驗ヲ分チテ左ノ二種トス

臨時試驗

定期試驗

臨時試驗ハ之ヲ必要トスル學科ニツキ毎學期一回以上施行スルモノニシテ其ノ期日ハ擔任教官之ヲ定メ施行後之ヲ教務課ニ通知スヘシ期日ヲ豫メ生徒ニ告知セントスルトキハ先ツ學級主任ト打合ハスヘキモノトス

定期試驗ハ別ニ時間ヲ定メテ之ヲ行フ

第一次定期試驗ハ第一學期ニ於テ履修セル部分ニ就キ之ヲ行フ

第二次定期試驗ハ第二學期ニ於テ履修セル部分ニ就キ之ヲ行フ

第三次定期試驗ハ第三學期ニ於テ履修セル部分並ニ當該學年間履修

セル所ニ就キ之ヲ行フ

第二十二條　試驗ノ成績ハ評點及評號ヲ以テ表示スルモノトス

評點ハ壹百點ヲ以テ滿點トス

第二十三條　學業成績ヲ分チテ學期成績學年成績及卒業成績トス其ノ表示法左ノ如シ

一、學期成績　各科評點並平均評點

二、學年成績　各學期成績ノ和ヲ三除シタルモノ

三、卒業成績　各學年成績ノ和ヲ三除ンタルモノ

生徒ニ示ス成績ハ之ヲ評號及概評ヲ以テス

第二十四條　文科理科各學年學科課程並ニ學業成績評點科目ヲ定ムルコト左ノ如シ

高等科文科學科課程並評點科目表

學年	學科目	類別	每週時數	第一學年	第二學年	第三學年
修身			一	實踐道德 國民道德	國民道德 倫理學大意	倫理及心理
國語及漢文			六	講讀 作文 國語文法	講讀、作文、國語文法、國文學史	論理及心理
英語		甲類	九	英	英	英
		科目數		三	三	三
		每週時數		三	三	三
		乙類		獨	獨	獨
		科目數		一	一	一
		每週時數		八	八	八
獨語			四			
		甲類				
		科目數		一	一	一
		每週時數		二	二	二
		乙類				
		科目數		三	三	三
		每週時數		四	四	四
歷史			三	日本史	東洋史 西洋史	西洋史
		甲類				
		科目數		一	一	一
		每週時數		三	三	三
		乙類				
		科目數		一	一	一
		每週時數		五	五	四
地理			二	世界各國ノ現狀		
		甲類				
		科目數		一		
		每週時數		二		
		乙類				
		科目數		一		
		每週時數		二		
哲學概說						
心理及論理						

法制及經濟	數學	自然科學	体操	每週教授時數
	一	二	三	三三
	諸論大要	生物及地質	教練体操及武道	
	一	一	一	三
	三	二	三	三四
	同上	同上	同上	
	一	一	一	三
二		三	三	三三
法制		物理及化學	同上	
一		一	一	一四
二		三	三	三四
同上		同上	同上	
一		一	一	一五
二			三	三三
經濟			同上	
一			一	三
二			三	三三
同上			同上	
一			一	三

高等科理科學科課程並評點科目表

學年	科目	類別	修身	國語及漢文	英語	獨語
第一學年	每週時數	甲類	一	四	八	四
		英	實踐道德 國民道德	講讀作文		
	科目數		○	三	二	一
	每週時數	乙類	一	四	三	一〇
		獨	同上	同上		
	科目數		○	三	一	三
第二學年	每週時數	甲類	一	二	六	四
		英	國民道德 倫理學大意	同上		
	科目數		一	二	二	一
	每週時數	乙類	一	二	三	九
		獨	同上	同上		
	科目數		一	二	一	三
第三學年	每週時數	甲類	一		六	四
		英	同上			
	科目數		一		二	一
	每週時數	乙類	一		三	九
		獨	同上			
	科目數		一		一	三

數學	物理	化學	植物及動物	鑛物及地質	心理	法制及經濟	圖畫	体操	每週教授時數
四			二	二		二	二	三	三
代數 立体幾何 三角法			植物一般			一般	自在畫 平面幾何畫 立体幾何畫	教練体操及武道	
二			一	一		一	一	一	一三
四			二	二		二	二	三	三三
同上			同上	同上		同上	同上	同上	
二			一	一		一	一	一	一四
四	三	三	二		二		二	三	三三
代數 初等解析幾何	力學物性 音響 熱	無機化學	動物一般		大意		立体幾何畫	同上	
二	一		一		一		一	一	一四
四	三	三	二		二		二	三	三四
同上	同上	同上	同上		同上		同上	同上	
二	一	一	一				一	一	一四
四 (二)	五	五	(四)				(二)	(三)	三三
微分及積分初等力學	光磁氣電氣講義三 實驗二	有機化學講義三 實驗二	植物一般 動物一般 講義二 實驗二				同上	同上	
一 (一)	二	二	二				一	一	一四
四 (二)	五	五	(四)				(二)	三	三四
同上	同上 講義三 驗實二	同上 講義三 實驗二	同上 講義一 實驗二				同上	同上	
二 (一)	二	二	(二)				(一)	一	三

隨意科ノ科目評點ハ正科ニ準スルモノトス

第二十五條　學年成績ノ評點左ノ條件ノ一ニ該當スル者又ハ努力ヲ缺ケル者ハ之ヲ原級ニ留ムルモノトス

一、平均評點六十點未滿ノモノ

二、一科目ノ評點四十點未滿ノモノ

三、科目評點五十點未滿ノモノ二科目以上アルモノ

四、科目評點五十點未滿ノモノ一科目ノ外ニ科目評點六十點未滿ノモノ二科目以上アルモノ

五、科目評點六十點未滿ノモノ科目總數ノ三分ノ一ヲ超ユルモノ

第二十六條　原級ニ留マル者ハ全學科ヲ履修スヘキモノトス

第二十七條　學業成績ヲ查定スル方法ヲ左ノ如ク定ム

一、定期試驗ノ評點ト平素點トヲ以テ評點ヲ作ル

二、平素點ハ臨時試驗評點及日課點並ニ平素ノ努力ヲ參照シテ之ヲ作

ル

三、臨時試驗評點ナキ學科ノ平素點ハ日課點及平素ノ努力ヲ參照シテ之ヲ作ル

日課點ナキ場合ハ前項ニ準ス

第二十八條　某科目ノ試驗ニ缺席シタルモノニ對シテハ其ノ科目ノ試驗成績ヲ零點トス但シ第二十九條各號ニ該當スルモノヲ除キ其ノ缺席ノ理由正當ナリト認メタルモノニ對シテハ平素ノ課業ノ成績及勤惰ヲ參酌シテ十分ノ六以內ノ認定評點ヲ與フルコトアルヘシ

追試驗ハ之ヲ行ハス

第二十九條　左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ認定評點ヲ與ヘス

一、停學處分ヲ受ケタル爲メ試驗ニ缺席シタルモノ

二、當該學年ニ於テ某科目ノ定期試驗ニ缺席スルコト二回以上ニ及ヒ

特別ノ詮議ノ餘地ナキモノ

三、試驗ニ缺席シタル事由ヲ所定ノ期日內ニ屆ケ出テサルモノ

四、當該學期ニ於テ某科目ノ缺課時數特ニ多キモノ

第三十條　試驗ニ於テ不正行爲ヲナシタルモノアルトキハ直チニ受驗資格ヲ喪失セシメ嚴重ニ之ヲ處罰ス

第三十一條　外國語科ニ限リ每年一回各科各學年ヲ通シ競爭試驗ヲ行フコトアルヘシ

其ノ成績優秀ナル者ニ對シテハ之ヲ表彰スルモノトス

第三十二條　學則第二十七條ノ卒業證書ハ左ノ書式ニヨル

卒業證書

本籍　族籍

何　某

生年月日

校印

右者本校ニ於テ高等科（文）（理）科ノ學科ヲ修メ正ニ其ノ業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

年　月　日

高知高等學校長位勳學位爵　氏　名印

番號

第三十三條　各學年ノ修了證書ヲ要スル者アルトキハ其ノ願出ニヨリ之ヲ交付スヘシ

第五章　授業料及寄宿料

第三十四條　授業料及寄宿料ハ現金ヲ以テ納付スヘシ但シ病氣其ノ他ノ事故ニ依リ歸鄕シ又ハ他ノ地方ニ在ル者ハ郵便爲替ヲ以テ納付スルコトヲ得

第三十五條　己ムヲ得サル事故ノタメニ學則第三十六條ノ納付期日內ニ納付スルコト能ハサル者ハ其ノ旨會計課ニ申出ツヘシ

第三十六條　學則第三十六條ノ徴收期ヲ過キテ之カ納付ノ義務ヲ生シタル授業料又ハ寄宿料ハ其ノ義務ヲ生シタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ納付スヘシ

第三十七條　學則第四十四條ニヨル保證人ヘノ納付催告ハ最寄保證人ニ之ヲ爲スモノトス

第六章　服制

第三十八條　登校ニハ必ス制服ヲ着用スヘシ但シ己ムヲ得サル事由ニ依リ制服ヲ着用スルコト能ハサルトキハ其ノ旨生徒課ニ届出ツヘシ

脚袢ハ特ニ指定シタル場合ノ外着用セサルコトヲ得

外出ノ際ハ制服又ハ制帽及袴ヲ着用スヘシ

第三十九條　新ニ入學セル生徒ニ對シテハ一ケ月間和服着用ヲ許可ス

第四十條　夏服ハ五月一日ヨリ十月二十日マデ着用スヘシ

略帽ハ五月一日ヨリ十月二十日マデ着用スルコトヲ得但シ式日又ハ体操ノ課業其ノ他特ニ示達シタル場合ニハ必ス正帽ヲ着用スヘシ

第四十一條　削除

第四十二條　外套ヲ着用スル者ハ乘馬形（絨製黒色又ハ濃紺色）又ハマント（絨製黒色又ハ濃紺色）ニ限リ之ヲ用フルコトヲ得

第四十三條　生徒ノ服制ハ左ノ定メニヨルヘシ

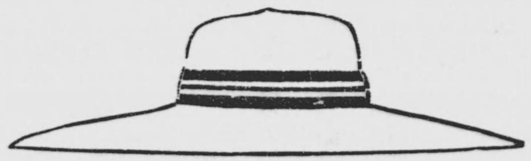
制帽		
正帽	地質	絨製（黒色及濃紺色）
	帽章	本校徽章金色（如圖）
	眼庇	黒革
	頤紐	黒革
	横章	白條二條
	制式	海車型
略帽	地質	麥稈
	側章	金色本校徽章（左側結目ニ附ス）
	徽章	焦茶色（幅約一寸七分）白條二條織込
	制式	普通型（高約三寸　縁幅約五寸）

制服						
	夏服		冬服			
襟章	上衣	ヴエスト	上衣	ヴエスト	袴	靴
制式	地質	霜降小倉	地質	霜降小倉	地質	地質
	釦	黒色煉物（如圖）	釦	黒色煉物（如圖）		
	制式	立襟背廣（褄角形）（ポケットハ上衣ノ左右兩脇及左胸部ニ各一個）	制式	立襟背廣夏服ニ同シ	制式	普通
脚絆	地質	上衣ニ同シ	地質	絨製「ヘル」類若クハ小倉黒色又ハ濃紺紺色	地質	黒革又ハ黒「ズック」
	制式	普通	制式	黒色煉物（如圖）	制式	普通
靴	地質	上衣ニ同シ	地質	上衣ニ同シ	地質	絨又ハ「カツラギ」製　カーキ色
	制式	普通	制式	普通	制式	卷脚袢
帽章	文科ハL　理科ハS　金色					

帽章

釦

帽略



第七章　寄宿寮

第四十四條　寄宿寮ハ本校教育ノ根本精神ニ基キ人格ヲ修養シ社會的生活ヲ習得セシムル所トス

第四十五條　寮生ハ規約ヲ定メ學校長ノ許可ヲ得テ之ヲ實行スルモノトス

規約ヲ以テ定ムヘキ事項左ノ如シ

一役員選擧ニ關スルコト

一寮內ノ秩序、衛生風儀ニ關スルコト

一炊事々務炊事監督ニ關スルコト

一其ノ他社會的生活ニ必要ナルコト

第四十六條　寮內ニ總務一名副總務一名委員若干名ノ役員ヲ置ク

役員ハ寮生ノ互選シタル候補者ニ就キ學校長之ヲ命ス

第四十七條　役員ハ生徒監ノ指導ニヨリ寮內整理ノ責ニ任シ規約ノ實行ヲ督勵ス

第四十八條　各室人員ノ配當ハ生徒監之ヲ定ム

第四十九條　寮內ノ日課時限ハ學校長ノ認可ヲ經テ生徒監之ヲ定ム

第五十條　寮生ハ每夜點檢ヲ受クルモノトス但シ必要アルトキハ隨時之ヲ行フコトアルヘシ

點檢ノ方法ハ生徒監之ヲ定ム

第五十一條　外出旅行歸省ニ關シテハ左ノ手續ヲナスヘシ

一外出ノ際門限時刻ニ遲ルヘキ事情アル者ハ豫メ其ノ事由ヲ届ケ置クヘシ

一已ムヲ得サル事故ノ爲メ門限時刻後歸寮シタル者ハ翌朝遲滯ナク其ノ事由ヲ届出ツヘシ

一已ムヲ得サル事故ノ爲メ門限時刻後特ニ外出セントスル者ハ寮務當直ノ認可ヲ受クヘシ

一外泊歸省又ハ旅行ノ場合ハ豫メ届出ツヘシ但シ春夏冬各期ノ休業中ハ此ノ限ニアラス

一外出中前號ノ手續ヲナス遑ナクシテ外泊シタル者ハ速カニ其ノ事

由ト居所トヲ通知シ歸寮ノ際更ニ屆ケ出ツヘシ

第五十二條　缺席又ハ缺課セントスルトキハ豫メ寮務當直ニ屆出ツヘシ

第五十三條　寮生ニ宛テタル郵便物電報等ハ總テ生徒課ヲ經由スルモノトス

第五十四條　寮生ハ必ス在寮誓書ヲ差出スヘシ其ノ書式ハ左ノ如シ

印紙

印

在寮誓書

私儀今般御校寄宿寮ニ入寮致候ニ付テハ寄宿寮諸規則堅ク相守リ可申此段相誓候也

本籍

族稱

戸主又ハ戸主何某何男(弟)

科年類

年月日　何　某印

何年月日生

前書何某入寮致候ニ付テハ在寮中ハ勿論退寮後ト雖モ同人在寮中ニ係ル事件ハ拙者ニ於テ一切負擔可致候也

本人ノ父兄若クハ父兄ノ責ニ任スヘキ者

本籍

職業

本人ニ對スル關係

年月日　何　某印

何年月日生

高知高等學校長何　誰殿

第八章　通學

第五十五條　通學生徒ハ異動ノ有無ニ拘ラス毎學年ノ始ニ於テ本校所定ノ用紙ニ宿所ニ關スル事項ヲ認メ學級主任ヲ經テ生徒課ニ届ケ出ツヘシ

第五十六條　通學生徒宿所ヲ變更シタルトキハ直ニ前條ノ手續ヲナスヘシ

第五十七條　通學生徒ノ宿所ニシテ不適當ト認メタルトキハ之ヲ變更セシム

第五十八條　通學生徒ニシテ在寮生徒ニ面會セントスルトキハ必ス應接室ニ於テナスヘシ

二　生徒心得

第一章　總則

第一條　生徒ハ常ニ其ノ本分ヲ守リ品位ヲ維持スヘシ

第二條　常ニ禮儀ヲ重ンスヘシ

第三條　常ニ質素清潔ヲ旨トスヘシ

第四條　起居運動飲食等ニツキテハ規律節制ヲ主トスヘシ

第五條　公德ヲ尊ヒ公共物ヲ大切ニスヘシ

第六條　學習ハ自發的ニシテ平素ノ努力ソノモノニ價値アルコトヲ了得シ向學ノ風ヲ盛ニスヘシ

第七條　風紀ヲ紊ス虞アル場所ニハ立入ルヘカラス

第八條　飲酒及喫煙ハ之ヲ愼ムヘシ

喫煙ハ校内所定ノ場所ニ限ル

第二章　教室

第九條　教室ニ於テハ常ニ所定ノ席ニ着クヘシ

第十條　教官定刻ニ至ルモ臨場セサルトキハ教務課ニ就キ其ノ指揮ヲ受クヘシ

第三章 缺課遲刻

第十一條 病氣又ハ已ムヲ得サル事故ニヨリ缺席セル者ハ生徒課備附ノ承認簿ニ其ノ事由ヲ記シ當日ヨリ三日以内ニ學級主任ノ承認ヲ受クヘシ但シ三日以上引續キ缺席シ本條ノ手續ヲナス能ハサル見込ノ者ハ最初ヨリ三日以内ニ書面ヲ以テ届出ツヘク又疾病七日以上ニ渉ルトキハ醫師ノ診斷書ヲモ差出スヘシ

第十二條 遲刻又ハ缺課セントスルモノハ前條ノ帳簿ニ其ノ事由ヲ記シ豫メ學級主任ノ承認ヲ受クヘシ但シ第一時限ニ於テ遲刻又ハ缺課セル者ハ當日中ニ本條ノ手續ヲ爲スヘシ

第十三條 前二條ノ場合ニ於テ學級主任缺勤退出等ノ爲メ期間内ニ承認ヲ受ケ難キトキハ生徒課ニ申出テ其ノ指揮ヲ受クヘシ

第十四條 近親ノ喪ニ丁ルトキハ左ノ日數内ハ忌引トシテ取扱フ

父母ノ喪 七日

祖父母ノ喪 五日

兄弟姉妹ノ喪 五日

曾祖父母又ハ伯叔父母ノ喪 三日

第四章 掲示集會出版

第十五條 學校ノ示達ハ速ニ承知スヘキモノナレハ時々掲示ニ注意スヘシ

第十六條 生徒掲示ヲ爲サントスルトキハ豫メ生徒監ノ承認ヲ受ケ所定ノ場所ニ限リ之ヲ貼付スヘシ

第十七條 集會ヲ爲サントスルトキハ之カ代表者ヲ定メ所定ノ用紙ニ其ノ目的日時場所等ヲ記載シ前日中ニ生徒監ニ届出ツヘシ言論ニ關スル集會ニツキテハ其ノ演題又ハ論題ヲモ添付スヘシ

第十八條 集會ノ爲メ本校々舍ヲ使用セントスルトキハ代表者ヲ定メ生徒課ニ願ヒ出ツヘシ

第十九條　定期ノ集會學術運動等ノ會合ヲ創設セントスルトキハ其ノ目的方法等ヲ具シ生徒監ニ願ヒ出ツヘシ
解散シタルトキハ直ニ屆出ツヘシ

第二十條　生徒出版物等ヲ發行セントスルトキハ豫メ生徒監ノ許可ヲ受クヘシ

第二十一條　本校外ノ者ト集會及競技ヲナサントスルトキハ豫メ生徒監ノ許可ヲ受クヘシ

三　校務分掌規程

第一章　教育

第一條　教授ニ關スル事務ハ學科每ニ當該教官ノ分擔トス

第二條　訓育ニ關スル事務ハ全教官ノ擔任トシ生徒監之ヲ主掌ス

第三條　教育ニ關スル事務ヲ整理セシメムカ爲學科主任及學級主任ヲ置ク

第四條　學科主任ハ左ノ學科ニツキ各一人トシ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス

第一學科	修身、哲學概說、心理及論理
第二學科	國語及漢文
第三學科	歷史、地理
第四學科	法制及經濟
第五學科	英語
第六學科	獨語
第七學科	數學
第八學科	物理、自然科學中物理ニ關スル事項
第九學科	化學、自然科學中化學ニ關スル事項
第十學科	植物及動物、鑛物及地質、自然科學中植物及動物並ニ鑛物及地質ニ關スル事項

第十一學科　圖書
第十二學科　體操

第五條　學科主任ハ學校長ノ指揮ヲ承ケ教務課長ト協議ノ上當該學科
授業ニ關スル事務ヲ掌ルモノニシテ其ノ事項概ネ左ノ如シ
一當該學科教授ニ關スル一切ノ事項
二當該學科ノ教授上必要ナル設備ニ關スル一切ノ事項
三其ノ他當該學科ニ關スルコト

第六條　學級主任ハ各學級一人トシ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス其ノ任
期ハ一箇年トス

第七條　學級主任ノ擔任スヘキ事項概ネ左ノ如シ
一擔任學級生徒ノ訓育ニ關スル事項
二擔任學級生徒ノ出缺調査ニ關スル事項
三擔任學級生徒ノ學業成績ニ關スル事項

四其ノ他擔任學級生徒ニ關スル一切ノ事項

第二章　事務

第一條　事務ヲ分チテ教務課生徒課圖書課庶務課及會計課トス

第二條　各課ニ課長ヲ置キ教務課圖書課及庶務課ノ課長ハ教授中ヨリ
學校長之ヲ命ス
生徒課長ハ生徒監中ヨリ學校長之ヲ命ス
會計課長ハ會計主任ヲ以テ之ニ充ツ

第三條　各課所要ノ勤務員ハ學校長適宜之ヲ命ス

第四條　教務課主管事務左ノ如シ
一學科課程教授要目教科用圖書教官ノ分擔及日課ニ關スル事項
一教室及教官室ニ關スル事項
一生徒募集選抜試驗及入學ニ關スル事項
一學級編成ニ關スル事項

一生徒學籍簿ニ關スル事項
一生徒出席簿ニ關スル事項
一試業進級及卒業ニ關スル事項
一成績表及成績證明ニ關スル事項
一生徒ノ休學退學除名ニ關スル事項
一野外演習射撃演習及修學旅行ニ關スル事項
一在學證明及兵役ニ關スル事項
一卒業生ノ大學進入ニ關スル事項
一學力檢定ニ關スル事項
一卒業生ニ關スル事項
一其ノ他教務ニ關スル一切ノ事項

第五條　生徒課主管事務左ノ如シ

一生徒ノ指導監督訓誨及懲戒ニ關スル事項

一生徒ノ保健及衞生ニ關スル事項
一學校衞生ニ關スル事項
一生徒ノ缺席缺課遲刻ニ關スル事項
一生徒ノ身体檢査ニ關スル事項
一生徒ノ學籍及兵役ニ關スル事項
一學級總代ニ關スル事項
一生徒ノ通學及宿所ニ關スル事項
一生徒ノ入寮及退寮ニ關スル事項
一生徒控所ニ關スル事項
一生徒ノ集會所ニ關スル事項
一生徒ノ集會ニ關スル事項
一生徒ノ揭示ニ關スル事項
一學資保管ニ關スル事項

一寄宿寮ノ衞生及警備ニ關スル事項
一寄宿寮ノ炊事監督ニ關スル事項
一寮宿直ニ關スル事項
一校内營業者ニ關スル事項
一生徒ノ品行證明ニ關スル事項
一其他生徒訓育及寄宿寮ニ關スル一切ノ事項

第六條　圖書課主管事務左ノ如シ

一圖書ノ保存及整理ニ關スル事項
一圖書目錄ニ關スル事項
一圖書貸出ニ關スル事項
一書庫及閱覽室ニ關スル事項
一圖書購入ノ調査ニ關スル事項
一新聞雜誌年報一覽等ノ保存及整理ニ關スル事項

一其ノ他圖書ニ關スル一切ノ事項

第七條　庶務課主管事務左ノ如シ

一御眞影ノ奉安及勅語ノ保管ニ關スル事項
一校長ノ官印及校印ノ保管ニ關スル事項
一職員ノ進退身分及服務ニ關スル事項
一職員ノ叙位叙勳ニ關スル事項
一職員ノ願伺届ニ關スル事項
一雇外國人ニ關スル事項
一規則及命令ニ關スル事項
一官報報告統計一覽等ニ關スル事項
一會議ニ關スル事項
一公文書處理ニ關スル事項
一文書ノ接受及發送ニ關スル事項

一儀式ニ關スル事項
一校旗ニ關スル事項
一寄附ニ關スル事項
一重要事項ノ記錄ニ關スル事項
一事務當直ニ關スル事項
一其ノ他他課ニ屬セサル一切ノ事項

第八條　會計課主管事務左ノ如シ

一歲入歲出ノ豫算及決算ニ關スル事項
一金錢ノ出納及保管ニ關スル事項
一物品ノ出納及保管ニ關スル事項
一物品ノ購入不用物品ノ處分修理等ニ關スル事項
一土地建物ノ營繕ニ關スル事項
一資金ニ關スル事項

一官有財產ニ關スル事項
一會計檢查ニ關スル事項
一物品檢閱ニ關スル事項
一傭人ニ關スル事項
一校內一般ノ警備取締ニ關スル事項
一電話電燈瓦斯給水及煖爐取扱ニ關スル事項
一校舍內外ノ洒掃ニ關スル事項
一其ノ他會計ニ關スル一切ノ事項

第九條　各課ノ主管事項ニシテ他課ニ關聯スルモノニツイテハ合議ノ上之ヲ處理スルモノトス

第十條　各課ニ於テ處理セル重要事項ニ就テハ其ノ都度必ス之ヲ他課ニ通告シ且其ノ概要ヲ學校長ニ具申スヘキモノトス

第十一條　各課處屬職員ハ常務ノ外時宜ニヨリ他課ノ事務ヲ補助スヘシ

四　評議員規程

第一條　本校ニ評議員若干名ヲ置ク

第二條　評議員ハ本校教授中ヨリ學校長之ヲ命ス

第三條　評議員ハ學校長ノ諮詢ニ應シ意見ヲ開陳ス

五　文書處理規程

第一條　本校ニ到達スル文書ハ第六條ニ依ルモノノ外庶務課ニ於テ之ヲ接受シ受付簿ニ登記シ收受ノ番號及月日ヲ記入シ直ニ主掌分課ニ配付シ取扱者ノ印ヲ徵スヘシ

二課以上ニ關係アル文書ハ其ノ重キニ從ヒ配付スヘシ

第二條　親展書ハ封緘ノママ宛名ニ配付スヘシ

第三條　配付ヲ受ケタル文書ニシテ他課主掌ニ屬スルモノアルトキハ之ヲ庶務課ニ還付スヘシ

第四條　配付ヲ受ケタル文書ハ速ニ之ヲ調査シ處分案ヲ提出スヘシ

事件ノ種類ニ依リ直ニ處分案ヲ提出スル能ハサルトキ又ハ處分案ヲ要スルカ否カノ不明ナルトキハ學校長ニ供閲シテ指揮ヲ受クヘシ

第五條　決裁ヲ受ケントスル文書ニシテ他課ニ關聯スル事件ハ該課ニ合議スヘシ

決裁濟ノ文書ハ主掌分課ニ於テ決裁年月日ヲ記入シ速ニ之ヲ處理スヘシ

第六條　左ノ文書ハ庶務課ヲ經由セス主掌分課ニ於テ直ニ接受スヘシ

一　敎務ニ關シ敎官ヨリ提出スル報告書類

二　生徒ヨリ差出ス願届書類

三　入學志願關係書類

四　其ノ他學校長ノ指定シタル書類

第七條　左ノ文書ハ主掌課主務者限リ處分スヘシ

一　生徒在學證明ニ關シ徵兵事務ニ關係ナキモノ

二生徒ノ學業成績證明ニ關スルモノ
三生徒ノ宿所入寮退寮及諸届出ニ關スルモノ
四物品ノ支給ニ關スルモノ
五一定ノ例規ニ依ルモノ

第八條　發送ヲ要スル文書ハ庶務課ニ回付スヘシ執務時間外ニ發送ヲ要スル文書アルトキハ當直ニ回付スヘシ

第九條　庶務課ニ於テハ發送文書及原議ニ番號ヲ付シ之ヲ件名簿ニ登記スヘシ

第十條　庶務課ニ於テ郵便電信ヲ發送シタルトキハ月日受信名發信名料金ヲ登記シ取扱主任檢印スヘシ

第十一條　事件ノ完結シタル文書ニシテ各課ニ保存スヘキモノヲ除ク外ハ總テ之ヲ庶務課ニ回付スヘシ

各分課ニ於テ保存スヘキ文書ハ別ニ定ムル所ノ樣式ニ依リ之ヲ編纂シ又ハ整理スヘシ

六　物品會計規程細則

第一章　總則

第一條　本校所屬物品ノ保管及出納ハ物品會計規則並文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ此細則ニ依リ處理スヘシ

第二條　物品ヲ大別シテ備品消耗品トシ更ニ備品ノ用途ヲ共用專用ノ二種トス共用トハ各部ニ於テ共用スルモノヲ云ヒ專用トハ職員各自ニ專用スルモノヲ云フ

但備品消耗品ノ種別ハ學校長之ヲ定ム

第三條　通常所要ノ備品消耗品ノ員數ハ各部ニ於テ之ヲ豫定シ毎年度始メニ於テ之ヲ會計課ニ回付シ學校長之ヲ決定ス

第四條　通常所要ノ物品ハ物品會計官吏ニ於テ一ケ年ノ豫定數量ヲ年一回若クハ數回ニ購入シ之ヲ藏置スヘシ

但學術用ノ器械標本等ニシテ豫定シ難キモノハ此限リニアラス

第二章　出納

第五條　物品ノ出納ハ學校長ノ命令アル文書ニ依リ物品會計官吏之ヲ行フ

第六條　各部ニ於ケル所要ノ物品ハ品目數量需用ノ事由及各部名ヲ記載セル請求書ヲ會計課ニ差出スヘシ

第七條　會計課ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ物品會計官吏之ヲ調査シ學校長ノ命令ニ依リ在庫品アルトキハ直ニ之ヲ支給シ購入ヲ要スルモノハ購入ノ手續ヲ經テ之ヲ支給スヘシ

第八條　臨時所要ノ物品及學術用機械標本等ハ各部ノ請求ニ依リ物品會計官吏之ヲ精査シ學校長ノ命令ヲ受ケ購入ノ手續ヲナシ之ヲ支給スヘシ

第九條　學術上機械ノ製作修理等ニ特種ノ注意ヲ要スルカ又ハ當業者ヲ選擇スル場合ハ便宜各部請求者ニ於テ當業者ノ見積書ヲ徵シ之ヲ添付シテ會計課ニ請求スヘシ

外國註文品ニシテ見積書ヲ徵スルコト能ハサルトキハ之ニ代ルヘキ調書ヲ添付スヘシ

第十條　物品會計官吏備品ノ購入ヲ爲シタルトキハ直ニ記號番號ヲ相當ノ箇所ニ付スヘシ

但學術用備品ノ記號番號ハ請求各部ニ於テ其手續ヲ爲スヘシ

第十一條　物品會計官吏ニ於テ物品ヲ支給セントスルトキハ各部物品監守者又ハ物品取扱主任者ニ交付シ物品請求及支給命令票相當欄ニ受領證印ヲ徵スヘシ

第十二條　各部使用中ノ物品ニシテ不用ニ屬スルモノアルトキハ直ニ會計課ニ返付スヘシ物品會計官吏ハ之ヲ審査シ爾後使用ニ堪フヘキモノハ保存シ其見込ナキモノハ處分案ヲ具シ學校長ノ裁定ヲ經テ之

ヲ處分スヘシ

第三章　保管及監督

第十三條　共用物品ノ監守及取扱ノ責任ヲ明確ナラシムル爲メ各部ニ物品監守者及取扱主任者ヲ置ク

但專用物品ハ各自之ヲ監守シ其責ニ任スヘシ

第十四條　物品監守者又ハ物品取扱主任者物品ノ支給ヲ受ケタル時ハ直ニ所定ノ備品監守簿又ハ消耗品受拂簿ニ記帳シ之ヲ整理スヘシ

第十五條　使用中ノ物品ニ就テハ物品會計官吏ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ管理スヘシ

一　備品ハ毎年一回以上備品監守簿ニ依リ現品ヲ查閱ス

二　消耗品ハ各學期一回以上消耗品受拂簿ニ依リ其適否ヲ調査シ更ニ現品ノ對照ヲナスヘシ

三　前項ノ場合ニ於テ物品ノ亡失毀損ヲ發見シ又ハ其使用上ニ付意見

アルトキハ學校長ニ具狀スヘシ

第十六條　各部ニ於テ物品ヲ毀損シ又ハ亡失シタルトキハ物品監守者若クハ物品取扱主任者ハ其實況ヲ詳記シ物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ具申スヘシ

第十七條　物品監守者又ハ物品取扱主任者ハ物品ノ自然破損ニシテ修理ノ上使用見込アルモノハ之カ修理ヲ會計課ニ請求シ其見込ナキモノハ直ニ返付ノ手續ヲナスヘシ

第十八條　第十六條ノ場合ニ於テハ事情ニヨリ物品檢閱委員合議ノ上學校長ノ裁定ニヨリ之ヲ修理セシメ又ハ代品若クハ相當代價ヲ辨償セシムルモノトス

第四章　檢閱

第十九條　學校長ハ物品檢閱委員若干名ヲ置キ本校所有物品ノ保管及使用並ニ消費上ノ適否ヲ檢閱セシムヘシ

前項ノ檢閲ハ定期及臨時ノ二種トス

第二十條　定期檢閲ハ毎年六月其ノ日時ヲ定メテ之ヲ行ヒ臨時檢閲ハ必要ニ應シ隨時之ヲ行フ

第廿一條　物品檢閲委員ノ檢閲スヘキ事項左ノ如シ

一物品保管方ノ適否

一物品使用及消費ノ適否

一物品亡失毀損等ノ有無

一帳簿ト現品トノ對照

第廿二條　物品檢閲ノ際ハ在庫品ニアリテハ物品會計官吏又ハ代理者使用中ノ物品ニアリテハ各部物品監守者又ハ物品取扱主任者立會シ檢閲委員ノ質問ニ答フヘシ

第廿三條　物品檢閲委員ニ於テ檢閲上故障ナシト認メタルトキハ帳簿ニ捺印シ若シ故障アリト認メタルトキハ該事實ニ就キ責任者ヨリ顚

末書ヲ差出サシメ處分終ルヲ俟チ前記ノ手續ヲナスヘシ

第廿四條　物品檢閲委員其檢閲ヲ終リタルトキハ檢閲ノ狀況ヲ詳記シ學校長ニ申報スヘシ

第五章　帳簿

第廿五條　物品會計官吏ハ物品ノ出納保管ヲ明確ニスル爲メ左記帳簿ヲ備ヘ之ヲ整理スヘシ

一物品出納簿

一證憑書類ニ基キ備品消耗品ニ區分シ其出納ヲ記入シ價格納入等ヲ明カニス

一備品內譯簿

命令文書ニ基キ在庫及使用物品ヲ區分シ其所在ヲ明カニス

一物品請求及支給命令票

命令及受領ノ證印アル文書ヲ區分編纂シテ使用ニ供シタル物品ノ

所在及其責任者等ヲ明カニス

第廿六條　各部物品監守者ハ備品監守簿ヲ備ヘ使用中ノ物品ノ現在ヲ明カニスヘシ

各部物品取扱主任者ハ消耗品受拂簿ヲ備ヘ受拂及物品ノ現在ヲ明カニスヘシ

第廿七條　帳簿樣式ハ別紙ノ通之ヲ定ム

附　則

此細則ハ大正十二年度ヨリ施行ス

但第三條ノ規程ハ大正十三年度ヨリ施行ス

七　職員服務規程

一　教官ノ服務

第一條　本細則ニ於テ教官ト稱スルハ教授助教授講師師範及雇外國教師ヲ包括ス

第二條　教官ハ教育事務ヲ擔任ス

第三條　教官ハ學校長ノ命ヲ承ケタル場合ニ於テ學科主任及學級主任ノ事務ニ從事スヘシ

第四條　教官ハ學校長ノ命ヲ承ケタル場合ニ於テ分課事務ニ從事スヘシ

第五條　教官ハ學校長ノ命ヲ承ケタル場合ニ於テ入學者選拔試驗高等科學力檢定試驗其他臨時ノ事務ニ從事スヘシ

第六條　教官ハ教授訓育其ノ他ノ事項ニツキ意見アルトキハ之ヲ學校長ニ具申スヘシ

第七條　教官ハ學校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ報酬ノ有無ヲ問ハス他ノ職務ニ從事スルコトヲ得ス

第八條　第十條乃至第二十一條ノ規定ハ之ヲ教官ノ服務ニ準用ス

二　事務員ノ服務

第九條　書記及雇員ハ上司ノ指揮ヲ承ケテ分課事務ニ從事ス
雇員ハ前項ノ外特別敎室ニ勤務セシムルコトアルヘシ

第十條　事務繁劇ナルトキ至急處理ヲ要スルモノアルトキ又ハ所屬上官ヨリ特ニ命セラレタルトキハ執務時間外若クハ休日ト雖モ執務スヘシ

第十一條　疾病其ノ他已ムヲ得サル事故ニ由リ缺勤スル者ハ當日執務時限前ニ事由ヲ具シ屆出ツヘシ
疾病ノ爲メ缺勤スルコト七日以上ニ渉ルトキハ屆書ニ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第十二條　執務時限中發病等ノタメ退出セントスルトキハ上官ノ承認ヲ承クヘシ

第十三條　父母ノ祭日ニ休暇ヲ要スルモノハ前日中ニ屆出ツヘシ

第十四條　親族ノ喪ニ丁リ服忌ヲ受クル者ハ其ノ親屬關係ヲ記シ屆出

ツヘシ

第十五條　轉地療養父母ノ病氣看護又ハ父母ノ墓參ノ爲メ請暇セムトスル者ハ日限及行先ヲ記シ許可ヲ受クヘシ

第十六條　陸軍又ハ海軍ノ召集又ハ簡閱點呼ニ應スル者ハ日限及應召地部隊艦艇名等ヲ記シ出發前ニ屆出ツヘシ

第十七條　賜暇中旅行セントスル者ハ日限及旅行地ヲ記シ出發前ニ屆出ツヘシ

第十八條　出張ノ命ヲ受ケタル者ハ出發及歸校ノ際其ノ旨ヲ屆出テ且歸校後五日以内ニ復命書ヲ差出スヘシ但シ簡單ナル事項ハ口頭ヲ以テ復命スルコトヲ得

第十九條　新任者ハ五日以内ニ住所ヲ屆出ツヘシ
住所ヲ移轉シ又ハ氏名族籍ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ都度屆出ツヘシ

第二十條　官廳其ノ他ヨリ本校ヲ經由セスシテ辭令書ヲ受ケ其ノ事項ノ履歷上ニ關係アルモノハ其都度屆出ツヘシ

第廿一條　轉任免官休職等ノ際又ハ分課事務ヲ免セラレタルトキハ取扱事務ニ關スル書類及物品ノ引繼ヲナスヘシ

三　當直者ノ服務

第廿二條　當直勤務ハ事務當直及寮當直トス

第廿三條　生徒課勤務以外ノ書記及雇員ハ輪番ヲ以テ事務當直ニ服スヘシ

生徒課勤務ノ判任敎官(又ハ之ニ準ズル者)書記及雇員ハ輪番ヲ以テ寮當直ニ服スヘシ

第廿四條　生徒監ハ必要ニ應シ臨時寮ニ當直スヘシ此場合ニ於テハ前條第二項ノ當直者ヲ除番スヘキ必要アリト認メタルトキ

第廿五條　當直時間ハ平日ニ在リテハ執務時間ノ終ヨリ翌日ノ執務時間ノ始又ハ之ニ相當スル時限マテトシ休日ニ在リテハ執務時限ノ始ニ相當スル時限ヨリ翌日ノ執務時限ノ始又ハ之ニ相當スル時限マテトス

第廿六條　左ノ各號ノ一ニ當ルトキハ當直ヲ免ス

一出張中出張前日出張先ヨリ歸校ノ翌日

二賜暇中

三忌引中

四疾病其ノ他ノ事故ニ由ル缺勤中

五新任者着任ノ日ヨリ七日間

六以上ノ外學校長ニ於テ除番スヘキ必要アリト認メタルトキ

第廿七條　事務當直者ノ任務ハ概ネ左ノ如シ

一校舍各室ノ鎖鑰ヲ管守スルコト

二校舍內外ノ取締ヲナスコト

三接受シタル物件ヲ處理スルコト
四火災ノ虞アル場所幷ニ器物ニ對シ特ニ注意スルコト
第廿八條　寮當直ハ寄宿寮ノ管理取締ニ任シ寮内一切ノ事務ヲ執ルヘシ
第廿九條　當直者ハ勤務中學校ヲ離ルルコトヲ得ス
第三十條　當直者ハ其ノ任務ニ關シ互ニ助力ヲ求ムルコトヲ得
第卅一條　當直中非常事故アルトキハ之ヲ學校長ニ急告シ且臨機ノ處置ヲナスヘシ
第卅二條　當直ノ服務ニ關スル細目ハ事務當直ニ在リテハ庶務課長寮當直ニ在リテハ生徒課長之ヲ定ムヘシ

四　學校醫ノ服務

第卅三條　學校醫ハ左ノ事務ヲ擔任ス
一學校衛生ニ關スルコト

二生徒ノ疾病治療ニ關スルコト
三身體檢查及身體檢查票ニ關スルコト
四寄宿寮附屬室ノ整理ニ關スルコト
五生徒ノ病類別患者月表及年表ヲ調製シ月表ハ翌月五日年表ハ次年度四月十五日限リ之ヲ學校長ニ差出スコト
第卅四條　學校醫ハ所定ノ日時ニ出校執務スヘシ但シ必要アルトキハ臨時出校執務スヘキモノトス
第卅五條　疾病其ノ他己ムヲ得サル事故ニ由リ缺勤スルトキハ相當ノ代人ヲ出校セシムヘシ此場合ニ於テハ其ノ氏名ヲ届出ツルモノトス
第卅六條　學校醫ハ衛生上必要ト認メタル事項ニツキ學校長ニ具申スヘシ

八　圖書規程

第一章　總則

第一條　本校所有ノ圖書ハ總テ之ヲ書庫ニ藏ス

第二條　書庫ニ於テハ本校所有ノモノノ外他ノ委託ニ係ル圖書ヲ保管スルコトアルヘシ

第三條　教務及事務上特ニ必要ノ圖書ハ學校長ノ許可ヲ得テ特別ノ場所ニ備ヘ置クコトヲ得

第四條　圖書ヲ閱覽スルコトヲ得ル者ハ本校職員舊職員生徒幷ニ第二條ノ圖書委託者其ノ他學校長ノ特許ヲ得タルモノニ限ル

第五條　本校職員ハ學校長ノ定ムル所ニヨリ本校所藏ノ圖書ヲ借受クルコトヲ得

第二章　貸出

第六條　各學科主任ハ參考上必要ノ圖書ヲ借受ケ之ヲ教官室職員閱覽室及各特別教室ニ備付ケ該科教官ノ共用ニ供スルヲ得

第七條　各課ニ於テハ事務上必要ノ圖書ヲ借受ケ之ヲ事務室ニ備付ケ

該課事務員ノ共用ニ供スルヲ得

第八條　教官ハ參考用トシテ一員十冊事務員ハ調査用トシテ一員五冊ヲ限リ圖書ヲ借出スコトヲ得

前項ノ冊數ハ洋裝ノモノニツイテ之ヲ定ム和漢裝ノモノニアリテハ右ノ冊數ヲ倍加スルコトヲ得

幅或ハ折本ハ一幅又ハ一折ヲ以テ一冊トシ雜誌類ハ十二冊新聞紙ハ一ケ月分ヲ以テ一冊ト見做シテ之ヲ通計ス

第九條　貴重圖書辭書類幷ニ閱覽室備附ニ缺クヘカラサル圖書ハ總テ借出スコトヲ得ス同一ノ圖書ハ一部ノ外借用スルコトヲ得ス

第十條　圖書ヲ借出サントスル者ハ自ラ圖書課ニ就キ所定ノ用紙ニ著者名、書名、冊數、番號、氏名、貸出年月日等ヲ明記シ捺印ノ上課員ニ差出スヘシ

第十一條　本校職員ニシテ受持學科以外又ハ執務用以外ノ圖書ヲ借出

サントスル時ハ當該圖書所屬ノ學科主任及ヒ圖書課長ノ承認ヲ經ヘシ

第十二條　生徒ニ圖書ヲ貸出サシムル必要アル時ハ當該圖書所屬ノ學科主任及圖書課長ノ記名調印ヲ要ス

第十三條　借出シタル圖書ハ凡テ他人ニ轉貸スヘカラス

第十四條　借出ノ圖書使用終ラハ速カニ返納スヘキハ勿論毎年七月五日迄ニ悉皆之ヲ返納スヘシ尤モ時宜ニヨリ臨時返納セシムルコトアルヘシ又生徒退學若クハ休學センントスル時ハ出願前悉ク之ヲ返納スヘシ

第十五條　凡テ借出シタル圖書ハ鄭重ニ之ヲ取扱フヘシ若シ汚損若クハ紛失シタル時ハ速カニ其事由ヲ具シ圖書課ニ届出ツヘキハ勿論自ラ修理又ハ辨償ノ責ヲ負フヘキモノトス

第三章　閲覧

第十六條　閲覧室ハ職員閲覧室及生徒閲覧室ノ二區ニ分ツ

第十七條　職員閲覧室ニ入ルコトヲ得ルモノハ本校職員舊職員幷ニ特ニ學校長ノ許可ヲ得タルモノニ限ル

第十八條　生徒閲覧室ニ入ルコトヲ得ルモノハ本校生徒ニ限ル

第十九條　生徒圖書ヲ閲覧セントスル時ハ目錄ニ就キ其圖書ヲ檢出シ所定ノ用紙ニ著者名、書名、冊數、番號、氏名年月日等ヲ記入シ課員ニ差出シテ之ヲ借受ケ閲覧終ラハ直ニ返納スヘシ

第二十條　生徒ハ一時ニ三部六冊ヲ限リ圖書ヲ借覧スルコトヲ得前項ノ冊數ハ洋裝ノモノニツイテ之ヲ定ム和漢裝ノモノニアリテハ右ノ冊數ヲ倍加スルコトヲ得

第廿一條　閲覧室開閉時限ハ隨時之ヲ告示ス

第廿二條　圖書閲覧室ノ閉鎖日ハ左ノ如シ

一本校所定ノ休日

一本校臨時休業日

第廿三條　閲覽室ニ入ル者ハ左ノ各項ヲ嚴守スヘシ若シ之ニ違背スル者アル時ハ退去ヲ命スルコトアルヘシ

一正服ノ外和服ノ時ハ袴ヲ着用スヘシ

二閲覽室ニ於テハ必ス脫帽スヘシ

三圖書筆紙墨類ノ外他ノ物品ヲ携帶スヘカラス

四借受ケタル圖書ヲ閲覽室外ニ携出スヘカラス

五借受圖書ヲ他人ニ轉貸スヘカラス

六靜肅ヲ旨トシ喫煙音讀雜談等他人ノ妨害トナルヘキ行爲アルヘカラス

七閲覽濟ノ圖書ハ直ニ之ヲ返納スヘシ

第廿四條　凡テ借受ケタル圖書ハ鄭重ニ之ヲ取扱フヘシ若シ汚損若ハ紛失シタル時ハ速ニ課員ニ届出ツヘキハ勿論自ラ修理又ハ辨償ノ責

ヲ負フヘキモノトス

第廿五條　圖書ノ種類ニヨリテハ閲覽ヲ許サヽルコトアルヘシ

第四章　雜

第廿六條　本校職員ニシテ圖書ノ購入ヲ必要トスル時ハ別ニ定ムル圖書購入請求簿ニ記入シ圖書課長ノ手ヲ經テ學校長ニ之ヲ請求スヘシ

第廿七條　圖書ノ寄贈又ハ保管ヲ委託セントスル者アル時ハ學校長之カ受否ヲ決定ス

但シ不慮ノ災難ニヨリテ委託圖書ノ損亡ヲ來スコトアルモ本校ハ辨償ノ責ニ任セサルモノトス

九　事務當直心得

第一條　當直者ハ勤務ノ始メ左ノ物件ヲ庶務課ヨリ受取リ勤務ノ終ニ之ヲ同課ニ返付スヘシ

一當直名簿

二當直日誌

三職員住所錄
五電信用語符號表
七郵便切手受拂簿

第二條　宿直中ニ到達シタル文書及發送スヘキ文書ハ假ニ收受發送ノ手續ヲナシ翌日庶務課ニ之ヲ引續クヘシ翌日休日ナルトキハ交代ノ者ニ引繼クヘシ

第三條　收受シタル文書中學校長宛ノ親展電報並至急親展文書ハ直ニ之ヲ學校長ニ送達シ學校宛ノ電報並至急文書ハ直ニ之ヲ庶務課長ニ送達スヘシ但電報ニハ電信用語符號表ヲ添フルヲ要ス

他ノ職員ニ宛テタル文書ハ前項ニ準シテ取扱フヘシ

第四條　宿直中郵便物ヲ發送シタルトキハ宛名差出人名件名使用切手ノ種類量目及金高電報ノ場合ハ字數金高ヲ郵便切手受拂簿ニ記入スヘシ

四文書送付簿
六郵便切手及端書
八生徒宿所錄

第五條　宿直日誌ニ記載スヘキ事項概ネ左ノ如シ

一月日曜
二天候及氣温
三當直職員官氏名並巡視及小使當直者氏名
四收受郵便物ノ種類及件數
五來校者氏名並用件
六受付タル電話並用件
七其ノ他當直中起リタル事件ノ顚末

第六條　當直者ハ日沒後少クトモ二回校舍內外ヲ巡視シ且適宜傭人ヲ指揮シテ巡視セシムヘシ

第六　職員

學校長

教授

獨語（在外研究中）	文學士	西川順之 栃木
物理	理學士	西澤富則 長野
數學	理學士	登石善二 大阪
化學	理學士	大橋五郎 福島
英語	文學士	原田禮一 岡山
植物及動物	理學士	米原弘 島根
獨語（在外研究中）	文學士	赤松邦太郎 兵庫
國語	文學士	市來義彥 鹿兒島
英語	文學士	白石勉 愛媛
漢文	文學士	鳥井匡 熊本
歷史	文學士	澤野章之助 岐阜

生徒監

	文學士	藤田福太郎 東京

英語	文學士	淺井綱雄 愛媛
國語	文學士	松崎祐存 埼玉
英語	文學士	阿部孝 岩手
修身、獨語	文學士	池浦忍 愛知
法制及經濟	法學士	小松泰馬 東京
地質及礦物、地理	理學士	山內信雄 京都
數學	理學士	五十嵐知雄 新潟
獨語	文學士	高尾國男 福岡
圖畫	工學士	村上照造 奈良
心理	文學士	岡本重雄 東京
獨語及論理	文學士	松岡義和 東京
獨語及哲學	文學士	米倉守 福岡
歷史	文學士	中山節郎 山口

生徒監

化學　理學士　塚本義之　東京
英語　文學士　吉川進　大阪
物理　理學士　篠崎長之　栃木
獨語　文學士　古川充二　佐賀

体操　配屬將校　陸軍歩兵中佐　足立順市　兵庫
劍道　助教授　石山熊彦　高知
体操　講師　堀江水　高知
漢文　富田健助　栃木
獨語　莊直一　岡山
柔道　浮田壽男　岡山

体操　師範　陸軍歩兵特務曹長　中岡延次　高知
圖書　弓道　牧ケ野敎信　岐阜
植物　備外國人敎師　吉永虎馬　高知
体操　窪田博　高知
英語　シドニー●ハーリ●バテイ●スミス　英國人
獨語　ゴットロープ●ボーナー　獨逸人
書記　五百藏正寬　高知

收入官吏　山崎正巍　高知
物品會計官吏　和泉陳平　東京
久保武哉　鹿兒島

囑託

雇

安岡良龜　高知
間崎輝之助　高知

吉岡武馬　高知
藤村哲彦　高知

原實登　高知
杉谷清澄　高知
小川英一　高知
藤田昇　高知
田中實馬　高知
本山隆明　長野
前田浩　高知

學校醫

小松鐵喜　高知
西村友吉　高知
大野壽惠子　高知

學級主任

文科第一學年甲一ノ組　醫學士　森木博喜　高知
文科第一學年甲二ノ組　教授　澤野章之助
文科第一學年乙組　教授　鳥井匡
文科第二學年甲一ノ組　教授　米原弘
文科第二學年甲二ノ組　教授　中山節郎
文科第二學年乙組　教授　池浦孝忍
文科第三學年甲一ノ組　教授　藤田福太郎
教授　松岡義和

文科第三學年甲二ノ組
文科第三學年　乙組
理科第一學年　甲組
理科第一學年　乙組
理科第二學年　甲組
理科第二學年　乙組
理科第三學年　甲組
理科第三學年　乙組

學科主任

第一學科　教授　岡本重雄
第二學科　教授　米倉守
第三學科　教授　五十嵐知雄
第四學科　講師　莊直一

教授　村上照造
教授　塚本義之
教授　大橋五郎
教授　赤松邦太郎
教授　池浦孝忍
教授　白石勉
教授　藤田福太郎
教授　小松泰馬

第五學科　教授　米原弘
第六學科　講師　莊直一
第七學科　教授　大橋五郎
第八學科　教授　登石善二
第九學科　教授　原田禮一
第十學科　教授　赤松邦太郎
第十一學科　教授　村上照造
第十二學科　講師　堀江水副

事務分掌

教務課

課長　教授　登石善二
勤務　教授　小松泰馬
　　書記　山崎正巍

庶務課

課長　生徒課

物理教室勤務　書記　久保武哉
植物及動物教室勤務　雇　西村友吉
化學教室勤務　雇　小松鐵喜
化學教室勤務　雇　前田浩

課長　生徒監　教授　原田禮一

講師　堀江水副　生徒監　教授　松崎祐存

講師　中岡延次

講師　田内博　雇　原實登

雇　杉谷清澄

課長　（兼）教授　登石善二

課長　圖書課　（兼）書記　久保武哉

囑託　藤村哲彥

教授　白石勉

書記　安岡良龜

雇　藤田昇

課長　會計課　主任書記　和泉陳平

書記　間崎輝之助

雇　小川英一

雇　田中實馬

雇　本山隆明

評議員

第七 前職員

前官職	就任年月	轉退年月	摘要	氏名	原籍
講師	大正十二、四	大正十二、五	解嘱	近藤駿介	長崎
講師	大正十二、四	大正十二、八	解嘱	梅津芳三	岩手
嘱託				吉岡武馬	
教授				登石善二	
教授				大橋五郎	
教授				原田禮一	
教授				米原弘	
教授				白石勉	
教授				松崎祐存	

前官職	就任年月	轉退年月	摘要	氏名	原籍
校長	大正十一、九	大正十二、十二	死亡	江部淳夫	新潟
教授	大正十二、三	大正十三、三	轉任	野間眞綱	鹿兒島
講師	大正十二、九	大正十三、三	解嘱	大金益次郎	栃木
書記	大正十一、十一	大正十三、四	死亡	小山三千三	長野
校醫	大正十二、四	大正十三、四	解嘱	武田鹿雄	高知
教授	大正十二、一	大正十三、六	轉任	和田廉之助	福岡
助手	大正十三、四	大正十三、八	解雇	岡林驥	高知
教授	大正十二、三	大正十三、八	退官	岩崎孫八	岡山
講師	大正十二、三	大正十三、八	解嘱	土井唯次郎	廣島
教授	大正十一、十二	大正十三、十	轉任	鈴木卓苗	岩手
教授	大正十二、四	大正十四、一	轉任	西田正一	廣島
書記	大正十二、三	大正十四、二	轉任	竹內鏡二郎	新潟
雇	大正十三、一	大正十四、二	解雇	山崎茂樹	高知

傭外國人	大正十三、四	大正十四、三	解傭	フリツツ●エス●ブラツシユ	獨逸
教授	大正十三、五	大正十四、三	解嘱	大新田勝海	大分
講師	大正十二、三	大正十四、三	退官	加藤盛一	廣島
教授	大正十二、三	大正十四、三	轉任	甲斐三郎	東京
教授	大正十二、三	大正十四、五	轉任	堅田武治	高知
雇	大正十二、二	大正十四、六	退官	志水義暲	熊本
教授	大正十二、四	大正十四、十一	退官	三宅幾三郎	兵庫
教授	大正十三、三	大正十四、十二	解雇	胎中豐五郎	高知
助手	大正十三、四	大正十四、十	解嘱	桑原良樹	高知
嘱託	大正十四、十	大正十九、三	解雇	德久勝	高知
助手	大正十四、十	大正十五、三	退官	三並虎一郎	愛媛
教授	大正十四、三	大正十四、十二	轉任	金子光介	福井
教授	大正十四、三	大正十五、三	轉任	上石保敎	兵庫
教授	大正十四、三	大正十五、四	解雇	佐竹堅吉	高知
教授	大正十四、三	大正十五、五	解嘱	東吉太郎	高知
助手	大正十三、四	大正十五、五	解嘱	野村岩龜	高知
嘱託	大正十四、十	大正十五、三	解雇	櫻井武仁	長野
助手	大正十四、十	大正十五、十	解雇	森木惠	高知
教授	大正十四、三	大正十五、十一	轉補	細木橋	高知
教授	大正十四、三	昭和二、三	退官	藤村哲彦	高知
教授	大正十四、三	昭和二、三	解雇	町田寶	高知
教授	大正十四、三	昭和二、三	解雇	中村忠六	高知
教授	大正十四、三	昭和二、四	退官	內藤馬藏	岡山

第八　生徒

一　生徒氏名

昭和二年五月十五日現在

文科第三學年甲類一組　三十九人

						備考（氏名ノ上ハ出身學校名氏名ノ下ハ原籍府縣名ナリ）
立命館	赤澤　貢	岡山	大阪府立農	荒木　周治	京都	米子　井上　龍二　鳥取
海南	池田　武男	高知	芝	石井　忠男	東京	鳥取第一　石破　二朗　鳥取
第二神戸	磯部　汀	兵庫	城東	岩井　万龜	高知	柏原　上山　清 兵庫
松山	越智　通隆	愛媛	松山	大野　四郎	高知	豐中　加藤　隆市 岐阜
天王寺	川崎　勢藏	大阪	城東	北川　清馬	高知	和歌山　木村　貞吉 和歌山
岸和田	古妻　巖	大阪	堺	鹽澤　和泉	栃木	第二神戸　重成　肅 岡山
高津	篠田　秀世	大阪	太田	島野　林藏	群馬	富岡　杉岡　長人 德島
土佐	關田　愼一	高知	成溪	曾根　辰雄	大分	第二神戸　田井　勇 兵庫
海南	高田　竹喜	高知	海南	橘　忠衛	高知	德島　田口　四郎 德島
土佐	土居　賢一	高知	松山	長尾　猛彦	愛媛	三田　前田　正和 兵庫
長野	松島　敏雄	長野	城東	宮田　直視	高知	岡山醫　森本　修 兵庫

中村	森山　正	高知	城東	安岡桂太郎	高知	米子　安田　稔 鳥取
佐伯	山名　良雄	大分	關西學院	吉川　末藏	兵庫	第一岡山　戸川　儉二 岡山

文科第三學年甲類二組　三十九人

立命館	安藤　康生	岡山	福井	新谷規矩夫	福井	東京第一　井上　徹 岡山
堺	泉谷　彥治	大阪	德島	岩淺　九野德	島	海南　植田　輝夫 高知
小野	臼井孝一郎	兵庫	鳳鳴	馬越　通靖	愛媛	東京高師附屬　尾崎作太郎 東京
大谷	尾本　四郎	岐阜	德島	岡村　宏威	高知	城東　岡崎　和郎 高知
三田	及川　齊	宮城	修獻館	島　孝	福岡	撫養　金澤　一之 德島
土佐	川上　俊鬼	高知	福井	齋藤　忠士	高知	高松　島崎　和駿 高知
第三神戸	進藤富士夫	兵庫	第二橫濱	鈴木　久雄	神奈川	高知農業　田所　義行 高知
堺	田中　久	大阪	城東	田淵　正範	高知	岡山　竹內　昌一 兵庫
安藝	谷岡　善哉	高知	山陽	張　恒誠	朝鮮	城東　土居　哲夫 高知
熊本	永瀨　晧	熊本	修獻館	中村　公祐	福岡	海南　中屋　驍 高知

第一神戸 秦 元春 高知 七 尾林 忠一 石川
旅順第一 安岡 一 高知 花 園山田 秀峰 山梨
三 田山本 匡夫 兵庫 土 佐横畠 正彦 高知

文科第三學年乙類

城東 有光孝太郎 東京 海 草井邊 房夫 和歌山
佐 伯尾崎 一政 大分 海 南大勝 太郎 高知
瀧 川岡田喜一郎 京都 大阪府立工業 岡村 重夫 大阪
兵庫縣立工業 清原 峯規 福岡 小 倉久保田 優 福岡
土 佐公文憲太郎 高知 濱松第一 近藤 亮一 靜岡
今 津澤 龍太郎 滋賀 城東 澤田米次郎 高知
鴻 城菅 陞 山口 岡崎市立商業 杉浦 健一 愛知
城東 長尾 正剛 高知 京都第二 中野 順夫 大分
岐 阜西山 龍介 高知 城東 野田 武雄 岡山

城東 有光孝太郎 東京 海 草井邊 房夫 和歌山 城東 上田 太郎 高知
佐 伯尾崎 一政 大分 海 南大勝 太郎 高知 小 野大西 武三 兵庫
瀧 川岡田喜一郎 京都 大阪府立工業 岡村 重夫 大阪 城東 岡村昌之介 高知
兵庫縣立工業 清原 峯規 福岡 小 倉久保田 優 福岡 城東 久万 俊成 高知
土 佐公文憲太郎 高知 濱松第一 近藤 亮一 靜岡 宇和島 酒井鹿太郎 愛媛
今 津澤 龍太郎 滋賀 城東 澤田米次郎 高知 龍山 信田 良 高知
鴻 城菅 陞 山口 岡崎市立商業 杉浦 健一 愛知 城東 津野 正和 高知
城東 長尾 正剛 高知 京都第二 中野 順夫 大分 愛知第四 西山 健兒 高知
岐 阜西山 龍介 高知 城東 野田 武雄 岡山 東京高師附屬 原 三七 東京

土 佐弘田 正己 高知 京 城平山 正弘 佐賀 修 道松尾 一 鹿島
北 野松本 定敏 高知 臺北第一 三輪 光 和歌山 城 東溝淵 龍雄 高知
海 南森本太郎松 高知 土 佐西本 良雄 高知

理科第三學年甲類

三十七人

城東 伊藤 俊夫 高知 城東 伊藤 洋 高知 八 尾居村富三郎 大阪
松 江岩藤 孟平 岡山 志布志岩重 又榮 鹿兒島 土 佐岡本 中庸 高知
東 山奥田 重喜 大阪 海 南龜井 俊夫 廣島 天王寺木田 泰一 大阪
安 藝久保 四郎 高知 城東 公文 幸夫 高知 長 野小林 粹樹 長野
城東 汎山 章 鳥取 第二神戸 佐々木心策 愛媛 京都第一 志田順一郎 千葉
鄂 山杉若 保奈 眞 土 佐砂川 和夫 高知 城 東瀨尾丙午郎 高知
竹 田田邊 公彬 大分 城東 寺石 良弘 高知 城 東土居傳三郎 高知
城東 中澤 力 高知 海 南信清正一郎 高知 豐 橋花井 武司 愛知
海 南弘瀨 長男 高知 富 岡藤岡 正人 德島 撫 養藤田 眞滋賀

土佐 細木志雄 高知 天城 正宗 勵 岡山 中村 松澤作馬 高知
三豐宮本 弘 香川 土佐 森岡清三郎 高知 同志社 森島五郎 京都
津山 森 英夫 岡山 畝傍 八倉萬佐寛奈良 城東 安岡 博 高知
第二神戸 柳原 正彦 兵庫

理科第三學年乙類

三十七人

城東 朝倉 齊 高知 豐橋 池田 謙一 愛知 城東 植松 皆昌 高知
鳥取第一 小田醇太郎 鳥取 海南 太田 誠一 和歌山 京都第二 大槻 顯 京都
今宮 岡本 重雄 大阪 郁文館 長田 盛次 東京 京都第二 革島 悟郎 京都
丸龜 久保 一正 香川 東筑 許斐 次夫 福岡 安藝 坂本之雄 高知
城東 貞廣 幸壽 高知 濱松第一 澤木 淑 靜岡 城東 澁谷 三郎 高知
城東 島本多喜雄 高知 城東 高橋 光行 高知 土佐 田村 季郎 高知
富岡 田村平八郎 德島 天王寺 坪井 次郎 岐阜 城東 中島 弘 高知
城東 中田 薰 高知 豐橋 長屋 一雄 愛知 城東 野田浩一郎 熊本

和歌山 野本 道一 高知 土佐 原 明治 高知 今宮 平野 國弘 大阪
中村 廣松 一實 高知 松山 兵頭 武夫 愛媛 高知縣立工業 深瀨 正孝 高知
今治 藤原 紫郎 愛媛 陸軍士官學校豫科 前田 恒丸 高知 第二神戸 松岡 亮一 鹿兒島
姫路 松野 武雄 兵庫 中村 安岡 準三 高知 第二神戸 安田健次郎 愛知
城東 山内 敬和 高知

文科第二學年甲類一組

四十人

濱松 足立榮一郎 靜岡 廣陵 安部 利見 廣島 第三神戸 粟屋 精 山口
第二神戸 池永 德夫 兵庫 桃山 五老海了 大阪 生野 井谷 速男 大阪
城東 岩崎 利美 高知 城北 岡崎 菅雄 高知 第三神戸 覓 修 兵庫
高津 川久保粂夫 大阪 宮津 小林 重敬 京都 城東 小牧 筍一 高知
土佐 佐竹 直郎 高知 兩洋 阪井 隆一 京都 第三神戸 島田 浩治 兵庫
掛川 白松 陸代 靜岡 豐橋 陶山 伊平 愛知 土佐 田中 早苗 高知
城東 田村 良作 高知 第二神戸 高井 祥平 兵庫 成東 高橋 國衛 千葉

高津玉井猛次 大阪 宇和島 土谷秀雄 愛媛 德島 土佐敬重 德島
堺 中西誠一 大阪 和歌山 中村良明 東京 海南 中村傳 高知
岐阜 野村一夫 岐阜 海南 萩野茂治 高知 中津 日野德松 大分
堺 福永季郎 大阪 濱松第一 增田潔靜岡 第三神戸 丸井富丸 熊本
豐橋 丸山高愛知 德島 村松遠 德島 北野森透 和歌山
城北 山崎稔 高知 修献館 山本陽一 高知 大成 和田義雄 長野
新義州高等普通 金麟伊 朝鮮

文科第二學年甲類二組 三十八人

德島 阿部幸助 德島 東山 赤松久吉 兵庫 天王寺 荒賀嘉生 大阪
岸和田 池田久夫 大阪 城北 石川治親 廣島 城北 石澤澈 北海道
安藝 石建虎兎榮 高知 養槻村巧 兵庫 靜岡 遠藤利一 靜岡
佐世保 大石平長崎 茨木 岡島宗一 大阪 佐世保 岡本俊彥 福岡
城東 鍵山貞利 高知 德島 片山秀雄 德島 城東 門脇賢一 高知

安藝 川田豐德 高知 鳳 京谷貞治 大阪 橫須賀 黑田久信 靜岡
東京高師附屬 佐藤孝 東京 城東 杉本伊代太 高知 第一神戸 高井春男 兵庫
德島 高岡眞一 德島 土佐 竹村悌三郎 高知 城東 竹村義一 高知
廣島高師附屬 寺地弘三 廣島 城北 東條猛猪 高知 大連第一 中村敏郎 山口
海南 中屋逸郎 高知 城東 西村寬 高知 京都第一 野田不美男 京都
荏原 野々瀨才次郎 德島 市岡 萩森健一 大阪 城東 正木喬 高知
德島 三木治信 德島 堺 宮口貞夫 大阪 海南 和田憲二 高知
第二神戸 脇坂正夫 兵庫 順天 李景源 朝鮮

文科第二學年乙類 四十二人

宇和島 赤松晴夫 愛媛 立命館 安藤康雄 京都 安藝 伊吹長雅 高知
脇町 緒方彰一 德島 城北 小野川秀美 高知 城東 大石太郎 高知
明治 大石了 東京 德島 神田甫 德島 德島 清重延儀 德島
伊丹 久我寅之助 大阪 城東 公文彪 高知 佐倉 小柳義雄 東京

新潟 齋藤 宏 新潟 京都第二 坂本 德松 高知 修道 清水 洋司 廣島
京都第二 志賀 傳三 京都 高津 生野 精 大分 安藝 須藤五三郎 高知
金澤第一 關川 善雄 石川 中村橋 清 高知 瀧川 成田 幹一 東京
秋田 西山浪太郎 秋田 姫路 西脇種次郎 兵庫 高知工業 濱田 德雄 高知
都城平川 民夫 宮崎 都文館 福山 稻夫 三重 第二神戸 藤村 慶一 山口
甲陽堀 善堯 兵庫 姫路 堀内 房雄 奈良 大阪市立工業 堀江 壯一 大阪
土佐三浦 直彌 高知 和水野 寬 宮城 川越 宮脇 英一 香川
市岡村岡 俊郎 佐賀 廐布茂木 順平 栃木 高松森 國夫 香川
安藝森澤 忠 高知 桃山藪内 文明 高知 長野山口 健 長野
宮津山田伊之助 京都 富田山本長太郎 三重 北野山内 王允 大阪

理科第二學年甲類

三十六人

豐山石森 賢一 埼玉 第三神戸 今井 光雄 兵庫 三豐石田 辰午 愛媛
富岡岩佐 英夫 德島 土佐井上喜代志 高知 生野臼谷 俊一 京都

城東衣斐 直道 高知 京都第二 宇野 又二 京都 姫路 浦岡 國光 兵庫
城北岡添 德助 高知 城東岡林 正元 高知 忠海 沖本 昇 廣島
錦城岸 重光 東京 天王寺 眞田 弘 廣島 中村 白木 只義 高知
土佐竹内 春男 愛媛 郡山竹村德次郎 奈良 姫北 蓼原 泰彦 高知
土佐長尾 景一 高知 城北中澤 明德 高知 城東 中村 求 高知
城東西村 信雄 高知 城東橋本 治水 高知 城東 藤原 陽 高知
城北古谷 優 高知 土佐前田 正文 高知 勵精 松本貞次郎 三重
城東馬淵 精一 高知 田邊增田 誠吉 和歌山 城北 官地 稻吉 高知
城東宮地 義博 高知 八尾森田 雄夫 大阪 城東 山崎 重明 高知
高知工業 吉川 勇 大阪 甲陽吉田 義信 大阪 德島 和田 嘉平 德島

理科第二學年乙類

四十六人

宇都宮新井 幹郎 栃木 第一神戸 飯田 覺 兵庫 閑谷 伊賀 安男 岡山
福島石神 脩 靜岡 今津伊吹 良夫 滋賀 畝 今西平一郎 奈良

福山内宮榮次 鹿兒島 東京開成 岡田正登 東京 中村岡本郁夫 高知
池田小神公一 德島 桃山大久保久男 大阪 姫路與雅之 兵庫
高知工業 鍵山謙吉 高知 安藝川北良水 高知 城東川村羊男 高知
松江木村尚之島 根 耐久小林洋二 和歌山 海南河野利健 高知
第一神戸 坂本健次郎 東京 土佐崎村茂樹 東京 富岡篠原勝德島
松山仙波森高 愛媛 城東高田勝實 高知 海南竹崎重利 高知
城北竹下元亮 高知 城東竹村悟 高知 中村田中正秀 高知
岸和田 露久志幹男 大阪 長崎中村定八 長崎 神通成田敬太郎 富山
宇和島中平宗一 愛媛 城東西内巖 高知 城北野中清 高知
京都第一 服部重次 京都 天王寺長谷川恭治 岡山 明倫長谷川博 愛知
城北濱脇建樹 高知 名古屋彦坂節三 愛知 郡山福辻清作 奈良
城東前田總六 高知 安藝町田速雄 高知 田邊森本正 和歌山
海南山崎義節 高知 靜岡山脇新二 靜岡 天王寺山田愼一 德島

城東吉川京惠 高知

文科第一學年甲類一組　四十人

住吉赤木次郎 大阪 佐伊尾木正憲 高知 住吉石川英夫 大阪
城北岩井茂利 高知 城北岩川守之助 高知 桃山江本三郎 兵庫
鳳岡本亨 大阪 高野山奥原日出男 兵庫 城北河野幸雄 高知
第二神戸 片岡八郎 高知 城東川嶋哲三郎 高知 福岡川邊達夫 鹿兒島
長狹鎌田庄太郎 千葉 城東木原昵 高知 城東小松辨次 高知
歐佛米田三治 奈良 第三神戸 塙見榮一 岐阜 東京開成 清水清 東京
城東杉本信哉 兵庫 安房武田喜一郎 千葉 高知工業 田中優 高知
城東田村孝 高知 城東千頭浩 高知 大連津田幸雄 鹿兒島
海南中澤義典 高知 生野中嶋寬 大阪 濱松西田憲一郎 靜岡
東京第六 西山實正 高知 市岡日垣恒章 大阪 城東東野俊夫 高知
第三神戸 平林茂 兵庫 北野藤井正義 大阪 姫路藤本剛三郎 兵庫

城東 細木 八尋 高知 堺 村詞 隆智 大阪 城東 山本 正秀 高知
土佐 吉川 武男 高知 上宮 吉田 寛二 兵庫 鹿兒島第二 脇田 寅三 鹿兒島
大田原 渡邊貞之助 栃木

文科第一學年甲類二組

四十八

熊本 赤塚 健一 熊本 城北 池上 健男 高知 奉天 伊東 猷宗 福島
京都第二 稻葉 英二 京都 土佐 岩崎萬喜夫 高知 川内 岩谷 碩三 鹿兒島
安藝 太田 德延 高知 第一岡山 河合 正志 岡山 第二神戸 河野 好男 兵庫
天王寺 金親不二男 大阪 城東 喜多 養藏 高知 城東 栗田鶴一郎 高知
市岡 小泉 文治 大阪 甲陽 塩見悦太郎 兵庫 高知商業 島村 十三 高知
中村 下村 基 高知 生野 洲合 充 大阪 城東 杉本 哲三 高知
舘壁關根三子雄 埼玉 城北 多田 英男 高知 郁文館 田中 和一 廣島
川内 田原 五郎 鹿兒島 城東 玉眞 達雄 高知 土佐 恒石 幸也 高知
城北 土居 克己 高知 城東 戸田 秋義 高知 城北 西野 友彦 高知

城東 西村 博 高知 城北 濱田 陽三 高知 城北 東川 正夫 高知
城東 平井 雅 高知 中津 平松 曰吉 大分 城東 深瀬 利雄 高知
岡崎 深津 尚愛知 濟々 福島 正道 熊本 北野 槇田武三郎 鳥取
大連第二 町田 稔 高知 長崎 松永 健哉 長崎 城北 前田 忠夫 高知
池田 山下南海男 德島

文科第一學年乙類

四十八

靜岡 飯田 修二 靜岡 甲府 糸賀 庸 山梨 栃木 市川統太郎 栃木
德島 市原 敏雄 高知 城東 植田 一夫 高知 半田 海野 稔 靜岡
天王寺 大浦 信一 愛媛 城東 大西 正男 高知 濱松 大山富士之 靜岡
市岡 加藤 彦平 愛知 天王寺 柿木 太郎 大阪 城東 鎌田 巖 高知
土佐 岸 熊雄 高知 鳥取第一 岸本英太郎 鳥取 第三神戸 木下 清 兵庫
天王寺 木下 虎一 大阪 大連第一 木村巳知春 廣島 第二神戸 楠川定次郎 福井
横濱第一 小林 三郎 神奈川 青山學院 櫻井 直堅 東京 城東 佐竹 忠雄 高知

城東嶋内　武秋　高知　東京第五
川邊造免　愛惠　鹿兒島　城東高平　弘　高知　柏原長澤　康　兵庫
城東中島　正　高知　土佐橋本　康夫　高知　土佐濱田　薫　高知
東京高師附屬　樋口　次雄　長野　城北日和崎棟男　高知　韮山堀江　悦三　靜岡
東京第四　卷苑　新東京　第二神戸　宮崎　謙三　東京　小樽三山　常吉　北海道
麻布　茂木　信平　栃木　土佐安岡日出男　高知　田川吉田　泰雄　福岡
唐津　吉村　勝　佐賀

理科第一學年甲類

四十八

海南　秋澤不二雄　高知　城北　秋友　素臣　高知　高津井尻　武逸　大阪
白杵　伊勢　尋道　大分　沼津岩田　穆　靜岡　池田　內田　虎雄　德島
錦城　上嶋　竹雄　東京　城東岡林　俊夫　高知　城北小原　巖　高知
高津　大橋　耕平　大阪　浪速甲藤　正實　高知　桃山　門屋　利績　大阪
土佐　木原　博　高知　大連第一清岡　鐘一　高知　市岡沓掛　紀一　兵庫

早稻田　小松　幹彦　高知　城北　杉本　虔吉　兵庫　土佐　田中　四郎　高知
城北　田村賢四郎　高知　城東坪內　健男　高知　福井　保津外茂男　福井
城北　德岡　裕美　高知　姬路中道　輝一　兵庫　土佐　中村　益藏　高知
高知商　野島　稔　高知　第一神戸　土生　片樟　大阪　安藝　畠中　俊一　高知
城北　濱谷　侃　高知　撫養藤田　龍雄　滋賀　甲陽藤田　忠人　栃木
城東宮內　義男　高知　土佐宮地　貞和　高知　土佐　元吉勇太郎　高知
田邊守田　富吉　和歌山　兵庫工業　安井七五三　兵庫　城北山崎　力　高知
城東山崎　英正　高知　城北山崎　齊　高知　城東　山本　英一　高知
洲本　吉田　達夫　兵庫

理科第一學年乙類

四十八

脇町　井內鐵太郎　德島　中津市塲　官司　大分　撫養　內島　盛文　德島
市岡　小笠原今男　大分　津小倉　登　和歌山　城北　小澤　一郎　神奈川
靜岡　大井　俊亮　靜岡　早稻田　川添　利秋　東京　九州學院　甲斐　秀郎　熊本

城　北北村眞三郎　高知　城東公文悦二郎　高知　土佐五藤政美　高知
第一神戸　坂本義教　高知　中村猿田南海雄　高知　堺　白畠正己　京都
城北杉本肇　高知　熊本鈴木憲輔　熊本　松本田島治兵衛　長野
住吉田路六郎　兵庫　城東谷岡止一　高知　天王寺千頭龍雄　高知
中津中山正義　福岡　城東野中正衛　高知　靜岡蓮實重則　栃木
天玉寺服部幸雄　大阪　大垣羽根田彌太　岐阜　勵精福田美之助　三重
池田藤井棟太郎　德島　城北前田犬千代　高知　沖縄第一前原元蒲　沖縄
佐伯水沼道勝　愛媛　飯田宮井梓　長野　中村宮上繁馬　高知
城北宮本忠士　高知　天王寺森本利夫　奈良　城東安並篤　高知
關西山中英　岡山　前橋横地良次　群馬　東山吉田甫　東京
第三神戸　吉間重一　兵庫

二一　生徒本籍府縣別表

（昭和二年五月十五日現在）

府縣名	種別	文科一年 甲類	文科一年 乙類	文科二年 甲類	文科二年 乙類	文科三年 甲類	文科三年 乙類	文科三年 計	理科一年 甲類	理科一年 乙類	理科二年 甲類	理科二年 乙類	理科三年 甲類	理科三年 乙類	理科三年 計	合計
北海道																
東京		一	四	二	三	二		一四	一	二	一	三	一	一	八	二二
京都		一		三	三	一		二		一	二	一	一		二	一六
大阪		一〇	二	一二	一三	五	一	一三	四	一	三	二	二	一	一五	四八
神奈川			一			一		一								三
兵庫		八	二	八	二	一〇	一	三一	五	二	二	二	一	一	一三	四四
長崎		一		一								一				三
新潟					一											一
埼玉		一									一					二
群馬						一		一								一
千葉		二		一												一
茨城																二
栃木		一	二		一			五	一	一						八
奈良		一			一			二		一		二			二	八
三重																四

愛知	靜岡	山梨	滋賀	岐阜	長野	宮城	福島	岩手	青森	山形	秋田	福井	石川	富山	鳥取	島根
一	一	｜	｜	一	｜	｜	一	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	一	｜
一	四	一	｜	｜	一	｜	｜	｜	｜	｜	｜	一	｜	｜	一	｜
二	五	｜	｜	一	一	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜
｜	｜	｜	｜	｜	一	一	｜	｜	｜	｜	一	｜	一	｜	｜	｜
｜	｜	一	｜	二	一	一	｜	｜	｜	｜	｜	二	一	｜	三	｜
一	一	｜	一	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜
五	一一	二	一	四	四	二	一	｜	｜	｜	一	三	二	｜	五	｜
｜	一	｜	一	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	一	｜	｜	｜	｜
｜	一	｜	｜	一	二	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜
｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜
二	二	｜	一	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	一	｜	一
一	｜	｜	一	｜	一	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	一	｜
二	一	｜	｜	一	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	一	｜
五	五	｜	三	二	三	｜	｜	｜	｜	｜	｜	一	｜	一	二	一
一〇	一六	二	四	六	七	二	一	｜	｜	｜	一	四	二	一	七	一

岡山	廣島	山口	和歌山	德島	香川	愛媛	高知	福岡	大分	佐賀	熊本	宮崎	鹿兒島	沖繩	台灣	朝鮮
一	一	｜	｜	一	｜	｜	三八	｜	一	｜	二	｜	五	｜	｜	｜
｜	一	｜	｜	｜	｜	一	一三	一	一	一	｜	｜	一	｜	｜	｜
｜	三	二	一	七	｜	一	二二	一	一	｜	一	｜	｜	｜	｜	二
｜	一	一	｜	三	二	一	一一	｜	一	一	｜	一	｜	｜	｜	｜
五	｜	｜	一	四	｜	三	二七	二	二	｜	一	｜	｜	｜	｜	一
一	一	一	二	｜	｜	一	一六	二	二	一	｜	｜	｜	｜	｜	｜
七	七	四	四	一五	二	七	一二七	六	八	三	四	一	六	｜	｜	三
｜	｜	｜	一	一	｜	｜	二三	｜	一	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜
一	｜	｜	一	三	｜	一	一三	一	二	｜	二	｜	｜	一	｜	｜
｜	二	｜	一	二	｜	二	一八	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜
二	｜	｜	二	三	｜	二	一七	｜	｜	｜	｜	｜	一	｜	｜	｜
三	一	｜	｜	一	一	一	一六	｜	一	｜	｜	｜	一	｜	｜	｜
｜	｜	｜	一	一	一	二	一八	一	｜	｜	一	｜	一	｜	｜	｜
六	三	｜	六	一一	二	八	一〇五	二	四	｜	三	｜	三	一	｜	｜
一三	一〇	四	一〇	二六	四	一五	二三二	八	一二	三	七	一	九	一	｜	三

三　生徒學歷別表

昭和二年五月十五日現在
△印ハ高等學校入學者資格試驗合格者

科	學年	文科 一年 甲	文科 一年 乙	文科 二年 甲	文科 二年 乙	文科 三年 甲	文科 三年 乙	理 一年 甲	理 一年 乙	理 二年 甲	理 二年 乙	合計
中學四年修了	昭和二年	一六	一二	—	—	—	—	一七	七	—	—	八〇
	大正十五年	一	一	二六	七	—	—	二	—	一一	一三	四〇
	大正十四年	△一一	—	三	△一二	△一三	七	—	一	三	三	七八
	大正十三年	—	一	一	二	—	△二	—	—	—	△一一	四二
	大正十二年	二	—	—	一	二	△一	一	—	—	—	七八
	大正十一年	—	—	—	—	三	—	—	—	一	—	三五
	大正十年以前	—	—	一	—	—	—	—	—	—	一	三五三
	計	△二〇一	一四	三一	△一二一	△二八一	△七三	二〇	八	一五	△一八一	四〇
中學卒業	和和二年	二七	七	—	—	—	—	七	一三	—	—	四〇
	大正十五年	一六	一〇	二三	九	—	—	八	七	八	一三	三六
	大正十四年	九	八	一〇	一二	二〇	一一	三	七	四	七	四六
	大正十三年	四	一	一〇	五	一二	八	二	四	三	四	三七
	大正十二年	一	—	四	三	一〇	三	—	一	五	一	三七
	大正十一年	一	—	—	—	四	三	—	—	—	一	二三六
	大正十年以前	一	—	—	—	三	—	—	—	一	一	二七
	計	五九	二	四七	二九	四九	二五	二〇	三二	二一	二七	五八九
	合計	△七九一	四〇	七八	△四一一	△七七一	△三二三	四〇	四〇	三六	△四五一	

第九卒業生

（氏名ノ上ハ在籍大學學部略稱。下ハ本籍府縣名トス）

一、第一回卒業生（大正十五年三月）百六十三名

文科甲類　七十一人

科	三年 甲	三年 乙	合計
東法	横田計	高知	五二
東法	平石武市	高知	六一
東經	松野仁	高知	△五九三
東法	高榮一二	兵庫	△八三
東文	江本貫一	德島	△七一
京文	堀内薫	奈良	四
	沓木主郎	廣島	三
京經	山本正大	高知	△一九四七
京文	米澤千足	德島	五四
東法	藤井信義	高知	九四
東文	秋田大助	東京	一〇四
京經	竹内正己	兵庫	七五
京經	野中禾郎	高知	四二
京經	山本登	滋賀	一〇
京經	辻芳雄	大阪	九
京文	久米宗一	德島	三八八
京法	大橋正通	高知	五八二七
東文	植野豐治	高知	三七
東經	川村有	宮城	三七
東法	小松重幸	高知	三七
京文	佐山敏生	高知	三七
東法	堅田守正	高知	三七
京經	濱田輝雄	高知	三七
京經	馬場定喜	高知	三七

京 經 中原 哲男 兵庫
京 文 鈴木 成高 高知
東 經 北村 克郎 高知
京 法 松岡 一陽 高知
京 法 奥島 猛 和歌山
京 文 村上 德美 高知
東 法 西内國次郎 高知
九大法文 大西 宗治 兵庫
京 法 水内 節男 岡山
京 法 神崎 眞剛 岡山
京 法 保津 善衞 岡山
東 法 柴田 均吾 香川
京 法 網田 覺一 兵庫
京 經 納谷 正男 大阪
京 法 土居 清美 高知
京 經 山崎 薫 高知
九法文 小野 龍夫 高知
京 法 横山 重幹 高知
京 經 長濱 清彦 愛知
東 文 中島 利夫 大阪
東 經 正岡 輝 高知
東 經 原 勝亮 香川
京 法 小川 吉雄 高知
京 法 山下 正 鹿兒島
東 法 大原 祐一 高知
東 經 竹内 正輝 鹿兒島
京 經 松井 仲三 和歌山
京 農 朝田 盛 高知
京 經 坂部 丘次 大阪
京 經 島崎 直博 兵庫
京 法 辰馬 喬男 兵庫
東 法 山崎 誠 高知
東 法 榮谷萬次郎 岡山
京 法 森 貞猪 高知
東 法 石建 雪松 高知
京 法 濱田 正信 高知
東 文 藤井 久信 高知
京 法 玉眞 鎭元 福岡
東 農 安益 祚 朝鮮

東 法 岡村 三郎 高知
東 經 土居 智 高知
京 法 平野 義彰 兵庫

文科乙類　三十二人

京 法 宇田 耕一 高知
東 文 藤井 久信 高知
京 法 玉眞 鎭元 福岡
京 法 濱田 正信 高知
東 經 土居 智 高知
京 法 平野 義彰 兵庫
京 法 長峰 賢次 宮崎
東北法文 中尾 朝彦 兵庫
京 法 余田 弦彦 熊本
京 法 淺田 允章 大阪
京 經 山口 恒雄 長崎
京 法 岩崎 勝 高知
京 法 稻富 能惠 福岡
東 法 伸 次郎 鹿兒島
東 文 廣野 和藏 宮城
京 法 川口 繁一 大阪
東 法 嶋村 信夫 東京
東北法文 碓氷 孝三 長野
京 法 鈴木 利茂 高知
京 文 川島 琢治 高知
東 經 西村 正志 兵庫
東 經 喜多 美一 德島
東 經 竹内 正夫 高知
京 法 田中 仁志 大阪
京 法 東野 正光 大阪
京 法 山田 松雄 大阪
京 法 信清 浩男 高知
東 法 古谷 保治 和歌山
東 經 池内 和實 高知
東 經 濱田 健夫 高知
京 法 森 駿愛 知
東 文 崎山 竹男 高知

京 法 木原 一雄 兵庫 東 經 橋本 高善 高知 京 經 灘 庄之助 大阪 京 經 佐々木第一郎 大阪 京 經 土居 忠清 大阪

理科甲類 三十三人

東 工 吉村 俊雄 高知 長 醫 田中 英吉 愛媛 松村 要 高知
東 工 青木 鍵吉 大阪 九 醫 市村平八郎 兵庫 東 工 川田 正秋 高知
京 經 中村 龜 高知 京 工 安田 惠德 島 京 工 横井 元昭 香川
東 農 林 一正 德島 九 工 小島 寬之 高知 東北 理 本莊 光宏 三重
臼井 一水 高知 京 工 矢野 正巳 高知 東 農 和田 武揚 高知
東 工 宮内 敬三 高知 北川 武彦 山口 東 理 今西 襄 高知
京 理 山本 廣喜 高知 河野 敏雄 高知 京 工 西山 忠一 高知
東 工 溝上 銈 高知 長 醫 浮舟 忠孝 大阪 京 工 安並 三男 高知
丹澤 次雄 山梨 東 農 後藤 新 東京 東北 工 葛目 修 高知
京 工 相阪 竹松 大阪 京 經 水口 補男 高知 京 工 安倉 利廣 高知

九 工 森澤 健太郎 高知 九 工 門田 益 東京 宮崎 開吉 高知

理科乙類 二十七人

金 醫 岸本 亮一 岡山 長 醫 小野 直治 高知 東 理 島崎 爲道 高知
東野 季喜 高知 九 醫 織田健太郎 高知 金 醫 古川 通貫 德島
東北 醫 五味 勝 長野 長 醫 公文 適 高知 京都府 醫 革島 貞吉 京都
東北 醫 三浦 公治 兵庫 九 醫 原田 正德 島 岡 醫 明石 新藏 愛媛
九 醫 安岡 藤吉 高知 東北 醫 中村 修 岡山 九 農 松山 喬 福岡
京都府 醫 生澤 藤繁 大阪 長 醫 弘田 克平 高知 金 醫 大原 豐澄 高知
京 醫 植田 謙吉 高知 片山 忠 高知 新 醫 野田 千歲 高知
東北 醫 池 義孝 高知 九 農 安田 等 高知 武內 暢 高知
新 醫 下村 忠龜 高知 九 工 岡田 元藏 德島 九 工 市村東九郎 兵庫

二、第二回卒業生（昭和二年三月）百七十五名

文科甲類 七十九人

東経 赤松 一夫 愛媛
東法 安藝 修 高知
東経 今井 實 高知
上田 知作 高知
京文 中原 滋世 德島
東法 樫谷 重春 高知
東法 片岡 義信 高知
門脇 祕 高知
東経 川村 誠一 高知
東文 木原 曉 兵庫
近藤 豐治 高知
東経 笹部 三郎 兵庫
京經 嶋崎 憲一 高知
東経 島本 新六 高知
東法 白濱 金二 德島
東法 鈴江 弓弦 高知
京経 瀧本 實春 高知
京経 竹内 武士 福井
京法 竹崎 收二 高知
鶴 實治 鹿兒島
東文 土井 久信 高知
濱田 三雄 高知
京文 久本三次郎 德島
京法 弘田 裕 高知
東法 細川 良平 高知
京法 牧野 太郎 大阪
京文 町田 俊雄 愛知
京経 松本祐九郎 高知
東北法文 山田 敏 東京
東文 安岡 清水 高知
京経 山口 長三 奈良
京経 山邊 知行 福島
山本 守 高知
京経 和田 耕作 高知
京経 尾崎千太郎 奈良
京法 渡邊 利通 大分
京経 木島 辰二 兵庫
京文 崔 鳳守 朝鮮

京法 劉 萬壑 湖
東北法文 上田 正夫 山口
令川 健一 兵庫
京法 近藤 亮爾 高知
東法 塩見 俊二 高知
京法 田万 廣文 香川
津野 清海 高知
京文 中山 克巳 高知
京経 水谷 明 大阪
九法文 宮本權次郎 和歌山
東経 横川源太郎 高知
東法 若槻 義雄 静岡
東北法文 尾形 健作 秋田
青木 昌長 高知
大久保秀夫 岡山
京法 川崎寅三郎 高知
京法 財津 武士 大分
東文 下村 大 高知
京法 近森 武尚 高知
京経 寺澤 六郎 德島
東法 西村 正男 高知
京法 宮地 正一 高知
京経 岩崎 尚夫 高知
九法文 柿本孝一郎 高知
京経 窪田順三郎 高知
九法文 佐藤 秀樹 高知
東法 曾我部正實 高知
京法 津崎 義節 熊本
京法 戸梶 重明 高知
京法 春名 好文 岡山
京法 宮地 忠郎 高知
東北法文 安岡 光義 高知
九法文 吉田 芳久 大阪
和田 齊 高知
東北法文 大町 一枝 高知
吉田 幾雄 德島
和田 收 高知
東北法文 森下 歳市 高知

京農 鄭求輿 朝鮮

文科乙類　二十七人

京法 井上數男 大分 東法 海路昌臣 高知 京法 大江市之助 京都
片岡一重 高知 京法 喜多昌治 三重 笹岡龍太郎 高知
東文 竹内弘 高知 京文 玉林憲義 山口 仲田劍太郎 岡山
東法 中山堅吉 高知 西川龍起 高知 京經 野崎貢三 岡山
萩野夏夫 福井 平田六郎 高知 東文 深澤赳 東京
京經 松村春夫 京都 東法 南政一郎 高知 三宅秀也 兵庫
東文 村上俊雄 德島 東文 山崎清三 高知 東經 山下正敏 佐賀
東經 立仙暹 高知 京文 森川是隣 愛知 大浦平 高知
京文 小幡義治 石川 京文 小島修 高知 東北理 關口信 千葉

理科甲類　三十五人

有澤幸夫 高知 東醫 市川博信 高知 垣內淳 高知

東大農 片山良行 香川 新醫 金川顯雄 和歌山 東工 鎌田權一 香川
清遠幸彥 高知 東北工 公文武彥 高知 東工 久米幸朔 高知
九工 河野健吉郎 愛媛 九醫 榊原康武 香川 東工 坂本正武 高知
東理 篠邦彥 茨城 島野廣 高知 岡醫 須藤吾之助 高知
東理 曾我部清澄 高知 東工 伊賀存知 香川 高木十吉 高知
京工 地村巳代治 滋賀 西村敏男 高知 長醫 畑山孝行 高知
卷幡槇夫 高知 南善亮 高知 東農 宮田經道 鹿兒島
長醫 森本勉 高知 九工 矢野正記 香川 京工 横田正幹 高知
東理 吉松隆三郎 高知 岡田周作 高知 岡本儁二郎 兵庫
尾立六次郎 鹿兒島 內藤俊義 熊本 東農 前野正博 高知
東農 大谷信太郎 大阪 東農 井上正朗 香川

理科乙類　三十四人

東理 伊勢村壽三 大阪 京醫 上原一夫 德島 京理 上畠勝夫 大阪

大西　晃　高知　東北醫　革島　史良　京都
澤田　喬雄　高知　岡醫　田岡　在久　德島
京理　玉置　清　大阪　九工　戸田　務　高知
中島　通　高知　西内　恒喜　高知
京醫　濱田　三郎　高知　金醫　早石　萃　京都　京理　藤永文治郎　德島
堀　正澄　京都　九醫　松崎　秀夫　德島　宮崎　敏男　高知
京醫　宮岡　正信　富山　森澤康二郎　高知　横山　猛重　高知
前田　陽　千葉　千醫　竹内　勝　新潟　東農　成澤　晋　福岡
京經　田中　敏輝　兵庫　三宅　清七　德島　大月　五　福井
金醫　伊吹順一郎　高知　瀬戸　正雄　神奈川　東醫　河斗　瑛　朝鮮
別府　常夫　高知

卒業生科別表

卒業年次	種別	文科 甲類	文科 乙類	文科 計	理科 甲類	理科 乙類	理科 計	合計
大正十五年		七一	三二	一〇三	三三	二七	六〇	一六三
		△一		△一				△一
昭和二年		七九	二七	一〇六	三五	三四	六九	三三八
		△二		△一二		△一	△一	△一四
		×一		×一				×一
計		一五〇	五九	二〇九	六八	六一	一二九	三三八
		△一三		△一三		△一	△一	△一四
		×一		×一				×一

備考　△ハ朝鮮人×ハ臺灣人ニシテ内數ナリ

第九關係法規

一　高等學校令（抄）　（大正七年勅令第三百八十九號）

第一條　高等學校ハ男子ノ高等普通教育ヲ完成スルヲ以テ目的トシ特ニ國民道德ノ充實ニ力ムヘキモノトス

第七條　高等學校ノ修業年限ハ七年トシ高等科三年尋常科四年トス

高等學校ハ高等科ノミヲ置クコトヲ得

第八條　高等學校高等科ヲ分チテ文科理科トス

第九條　高等學校ニハ高等科ヲ卒リタル者ノ爲ニ專攻科ヲ置クコトヲ

得

其ノ修業年限ハ一年トス

專攻科ヲ卒リタル者ハ得業士ト稱スルコトヲ得

專攻科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十二條　高等學校高等科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該學校尋常科ヲ修了シタル者中學校第四學年ヲ修了シタル者又ハ文部大臣ノ定ム

ル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第十三條　高等學校ノ生徒定數ハ高等科四百八十人以內尋常科三百二十人以內トシ第七條第二項ノ高等學校ニ在リテハ專攻科ヲ除キ六百人以內トス

第十四條　高等學校ニ於テハ同科同學年ノ生徒ヲ以テ學級ヲ編制スヘシ

一學級ノ生徒定數ハ四十八以內トス

第十五條　高等學校ニ於テハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ學科目ノ種類ニ從ヒ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ敎授スルコトヲ得

第十六條　高等學校ノ敎員ハ文部大臣ノ授與シタル高等學校敎員免許狀ヲ有スル者タルコトヲ要ス但シ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ免許狀ヲ有セサル者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

高等學校敎員免許狀ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十七條　高等學校ノ設備、編制、學科目及其ノ程度、敎科書竝生徒ノ入學退學及懲戒、授業料入學等ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第二十條　本令ニ依ラサル學校ハ勅定規程ニ別段ノ定アル塲合ヲ除ク外高等學校ト稱シ又ハ其ノ名稱ニ高等學校タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用フルコトヲ得ス

附　則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治二十七年勅令第七十五號高等學校令及高等中學校令ハ之ヲ廢止ス

舊令ニ依ル高等學校ハ之ヲ本令ニ依リ高等學校トス

前項ノ高等學校ニハ當分ノ內第十三條ノ規定ヲ適用セス

高等學校大學豫科ハ大正十年八月三十一日マテ之ヲ存續ス

二　高等學校規程（抄）（大正八年文部省令第八號 大正九年文部省令第四號改正）

第一章　學科課程及教科書

第二節　高等科

第四條　高等科文科ノ學科目ハ修身、國語及漢文、第一外國語、第二外國語、歷史、地理、哲學概說、心理及論理、法制及經濟、數學、自然科學、體操トス

高等科理科ノ學科目ハ修身、國語及漢文、第一外國語、第二外國語、數學、物理、化學、植物及動物、鑛物及地質、心理、法制及經濟、圖畫、

體操トス

外國語ハ英語、獨語又ハ佛語トス

第二外國語ハ隨意科目トス

第五條　修身ハ教育ニ關スル勅語ノ趣旨ニ基キ道德上ノ思想及情操ヲ養成シ實踐躬行ヲ勸奬スルヲ以テ要旨トス

修身ハ道德ノ要領ヲ授ケ國家、社會、家族ニ對スル責務竝人格修養ニ關シ必要ナル事項ヲ知ラシメ特ニ我國民道德ヲ會得シ其ノ實行ニ務メシムヘシ

第六條　國語及漢文ハ言語文章ヲ了解シ正確且自由ニ思想ヲ表ハスノ能力ヲ得シメ智德ヲ啓發シ文學上ノ趣味ヲ養フヲ以テ要旨トス

國語及漢文ハ文科ニ在リテハ近世、近古及中古ノ國文ヲ授ケ進ミテ上古文ノ一般ニ及ホシ又普通ノ漢文ヲ講讀セシメ國語文法及國文學史ノ大要ヲ授ケ作文ニ習熟セシムヘシ

理科ニ在リテハ近世及近古ノ國文竝普通ノ漢文ヲ授ケ作文ニ習熟セシムヘシ

第七條　外國語ハ英語、獨語又ハ佛語ヲ了解シ且之ニ依リテ思想ヲ表ハスノ能力ヲ得シメ兼テ智德ニ資スルヲ以テ要旨トス

外國語ハ發音、綴字、讀方、譯解、話方、作文、書取及文法ヲ授クヘシ

第八條　歷史ハ重要ナル古今ノ事蹟ヲ知ラシメ邦國ノ盛衰、文化ノ發達ヲ理會セシメ特ニ我國運發展ノ由來、國體ノ特異ナル所以ヲ明ニシ國民性格ノ養成ニ資スルヲ以テ要旨トス

歷史ハ日本歷史、東洋歷史ヲ授クヘシ

第九條　地理ハ我國及重ナル世界各國ノ現狀ヲ知ラシムルヲ以テ要旨トス

地理ハ我國及諸外國ノ政治經濟等ニ關スル地理上ノ智識ヲ授クヘシ

第十條　哲學概說ハ思想界ニ關スル智識ヲ與ヘ哲學ノ概念ヲ會得セシムルヲ以テ要旨トス

哲學概說ハ東洋及西洋ノ哲學、宗教等ニ就キテ其ノ大要ヲ授クヘシ

第十一條　心理及論理ハ心意ニ關スル智識ヲ得シメ思考ヲ鍛練セシム

心理及論理ハ各種ノ精神作用、思考ノ原則及其ノ方法ノ概說ヲ授クヘシ

第十二條　數學ハ數理ヲ會得セシメ計算應用ニ熟セシメ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

數學ハ文科ニ在リテハ數學諸論ノ大要ヲ授ケ理科ニ在リテハ代數、立體幾何、三角法、初等解析幾何初等微分積分及初等力學ヲ授クヘシ

第十三條　自然科學ハ天然物及自然ノ現象ニ關スル智識ヲ與ヘ其法則ヲ理會セシムルヲ以テ要旨トス

自然科學ハ生物、地質、物理、化學等ニ關スル主要ナル事項ヲ授クヘ

シ

第十四條　物理、化學ハ自然ノ現象ニ關スル智識ヲ與ヘ其ノ法則ヲ理會セシメ之カ應用ヲ示シ兼テ觀察工夫ノ力ヲ養フヲ以テ要旨トス

物理ハ力學、物性、音響、熱、光磁氣、電氣ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

化學ハ無機化學及有機化學ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

第十五條　植物及動物、鑛物及地質ハ天然物ニ關スル智識ヲ與ヘ之カ應用ヲ示シ兼テ觀察ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

植物及動物ハ生物ノ形態、生理、分類、進化ニ關スル智識ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

鑛物及地質ハ鑛物ノ產狀、性質、用途、地球ノ構成及其ノ變遷ニ關スル智識ヲ授ケ又便宜上主要ナル實驗ヲ課スヘシ

第十六條　法制及經濟ハ法制及經濟ニ關スル事項ニ就キ國民生活ニ必要ナル智識ヲ得シムルヲ以テ要旨トス

法制及經濟ハ帝國憲法ノ大要及日常ノ生活ニ適切ナル法制上及經濟財政上ノ事項ヲ授クヘシ

第十七條　圖畫ハ形態ヲ正確且自由ニ畫クノ能力ヲ得シメ意匠ヲ練リ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

圖畫ハ自在畫、平面幾何畫、立體幾何畫ヲ授クヘシ

第十八條　體操ハ身體ヲ健全ニシ動作ヲ敏活ナラシメ剛健ノ精神ト規律ヲ守リ協同ヲ尚フノ習慣トヲ養フヲ以テ要旨トス

體操ハ教練及體操ヲ授クヘシ又劍道及柔道ヲ加フルコトヲ得

第十九條　文科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目＼學年	第一學年	第二學年	第三學年
修身	一	一	一

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年
國語及漢文		六	五	五
第一外國語		九	八	八
第二外國語		(四)	(四)	(四)
歷史		三	五	四
地理		二		
哲學概說				
心理及論理			二	二
法制及經濟				
數學		三		
自然科學			二	三
體操		三	三	三
計		二九(三三)	二九(三三)	二八(三二)

第一外國語ハ尋常科又ハ中學校ニ於テ生徒ノ履修シタル外國語トス但シ生徒ノ志望ニ依リ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得シム此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語及第二外國語ノ每週敎授

時數ハ左表ニ依ルベシ

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語		一一	一〇	〇
第二外國語		(三)	(三)	(三)
計		三一(三四)	三一(三四)	三〇(三三)

第二外國語ヲ修メサル者ニ對シテハ其ノ敎授時數ヲ便宜他ノ學科目ニ配當スルコトヲ得

第二十條　理科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ每週敎授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年
修身		一	一	一
國語及漢文		四	二	
第一外國語		八	六	六

第二外國語			(四)	(四)
數學			四	四
物理			三 講義三 實驗二五	三 講義三 實驗二五
化學			三 講義二 實驗二四	三 講義二 實驗二四
植物及動物			二	二
鑛物及地質			二	二
心理			(二)	(二)
法制及經濟			二	二
圖畫			二	二
體操			三	三
計			二八 (三二)	二八 (三二)

第三學年ノ數學(二)及圖畫(二)ト第三學年ノ植物及動物(講義一)(實驗二)トハ生徒ヲシテ其ノ一ヲ選擇セシムルモノトス

第一外國語ハ尋常科又ハ中學校ニ於テ生徒ノ履修シタル外國語トス

但シ生徒ノ志望ニ依リ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得シム

此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語及第二外國語ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目 \ 學年	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語	一〇	九	九
第二外國語	(三)	(三)	(三)
計	三(三三)	三一(三四)	三一(三四)

第二外國語ヲ修メサル者ニ對シテハ其ノ教授時數ヲ便宜他ノ學科目ニ配當スルコトヲ得

第三節　專攻科

第二十一條　專攻科ノ學科目ハ左ノ學科目中ヨリ便宜撰擇シテ之ヲ定ムヘシ

國語、漢文、支那時文、外國語、史學、哲學、倫理學、社會學、法律學、政治學、濟學、數學、物理學、化學、植物學、動物學、鑛物學、地質學、天文學、氣象學、

應用化學、機械工學、實業ニ關スル科目等

第四節　教授上ノ注意

第二十二條　高等學校ニ於テハ高等學校令第一條ノ趣旨ニ依リ生徒ヲ教育シ殊ニ國民道德ノ充實ニ關聯セル事項ハ何レノ學科目ニ於テモ常ニ留意シテ教授センコトヲ要ス

各學科目ノ教授ハ其ノ目的及方法ヲ誤ルコトナク互ニ相聯絡シテ補益センコトヲ要ス

第五節　教科書

第二十三條　高等學校ノ教科書ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ學校長之ヲ定ムヘシ但シ文部大臣ノ檢定ヲ經タル中學校教科書ヲ尋常科ノ教科書トシテ使用スル場合ニ於テハ認可ヲ要セス

第二章　學年、教授日數及式日

第二十四條　學年ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日マテトス但シ九月

一日ヨリ翌年八月三十一日マテト爲スコトヲ得

第二十五條　教授日數ハ尋常科ニ在リテハ毎學年二百二十日以上、高等科ニ在リテハ毎學年二百日以上、專攻科ニ在リテハ百九十日以上トス但シ次條ノ場合及特別ノ事情ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ此ノ限リニアラス

試驗及修學旅行ニ充ツル日ハ前項ノ日數ニ算入セス

第二十六條　傳染病豫防ノ爲必要ナルトキ其ノ他非常變災アルトキハ臨時休業ヲ爲スコトヲ得

第二十七條　紀元節、天長節祝日及一月一日ニハ職員及生徒學校ニ參集シテ祝賀ノ式ヲ行フヘシ

第三章　編制

第二十八條　尋常科ニ於テ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得ル場合ニ關シテハ中學校ニ關スル規定ヲ準用ス高等科

ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除ク外文部大臣ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第四章　設備

第三十一條　高等學校ニ於テハ校地、校舍、體操場及校具ヲ備フヘシ

第三十二條　校地ハ學校ノ規模ニ適應セル面積ヲ有シ且道德上及衛生上害ナキ所タルヘシ

第三十三條　校舍ニハ教室、事務室其ノ他必要ナル實驗室、圖書室、器械室、標本室等ヲ備フヘシ

校舍ハ教授上管理上及衛生上適當ニシテ堅牢ナルコトヲ要ス

第三十四條　校具ハ教授上必要ナル圖書、機械、器具、標本、模型等トス

第三十五條　高等學校ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表
二　職員ノ名簿及履歷書竝擔任學科目及時間表
三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢查ニ關スル表簿及入營延期又ハ徵兵猶豫ニ關スル書類
四　試驗ノ問題答案及成績表
五　資產原簿、出納簿經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿及圖書、機械、器具標本模型ノ目錄

生徒學籍簿ニハ生徒ノ氏名、族籍、居所、生年月日、入學前ノ學歷、入學轉學退學ノ年月日及其ノ學年、卒業ノ年月日、入學試驗ノ有無、轉學退學ノ事由徵兵事故保證人ノ氏名及居所等ヲ記載スヘシ

第六章　入學在學休學退學及懲戒

第三十八條　生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始ヨリ三十日以內トス

第三十九條　當該高等學校ノ豫科ヲ修了シタル者ハ其ノ他ノ志願者ニ先チ之ヲ尋常科ニ入學セシムヘシ

第四十條　他ノ高等學校又ハ中學校ノ豫科ヲ修了シタル者及高等學校ニ於テ國語算術及本歷史地理理科ニ就キ尋常小學校卒業ノ程度ニ依リ行フ試驗ニ合格シタル者ハ尋常科ノ入學ニ關シ尋常小學校ヲ卒業シタル者ト同等以上ノ學力アリト認ム

當該高等學校ノ豫科ヲ修了シタル者以外ノ入學志願者ノ數尋常科ニ入學セシムヘキ人員ニ超過スルトキハ尋常小學校卒業ノ程度ニ依ル試驗ニ依リテ入學者ヲ選拔スヘシ

第四十三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ高等科ノ入學ニ關シ中學校第四學年ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力アリト認ム

一他ノ高等學校尋常科ヲ修了シタル者

二高等學校高等科入學資格試驗ニ合格シタル者

三專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル者

四文部大臣ニ於テ高等學校高等科ノ入學ニ關シ指定シタル者

五文部大臣ニ於テ一般ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者

前項ノ資格試驗ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第四十五條　高等學校ニ於テハ入學志願者ニ對シテ体格檢查ヲ行ヒ之ニ合格シタル者ニ限リ入學セシムヘシ但シ當該學校ニ於テ豫科ヨリ尋常科ニ進入シ又ハ尋常科ヨリ高等科ニ進入スル者ニ關シテハ此ノ限ニ在ラス

第四十六條　高等科第二學年以上ニ入學ヲ許スヘキ者ハ第一學年ニ入學スル資格ヲ有シ且前各學年ノ課程ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

前項入學者ノ學力ハ前各學年ノ程度ニ於テ其ノ各學科目ニ就キ試驗

ニ依リ之ヲ檢定スヘシ

第四十七條　高等學校生徒ニシテ退學シタル者退學シタル時ヨリ一年以内ニ於テ高等學校ニ入學ヲ志願シタル時ハ同一學年以下ノ學年ニ限リ入學ヲ許可スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ其ノ退學シタル高等學校ニ再入學ヲ志願シタル者ニ限リ試驗ニ依ラサルコトヲ得

第四十八條　高等學校生徒ニシテ他ノ高等學校ニ轉學ヲ志望スル者アルトキハ關係學校長ノ協議ニ依リ之ヲ許可スルコトヲ得

第五十條　高等學校ニ於テ各學年ノ課程ノ修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ學業及試驗ノ成績ヲ考査シテ之ヲ定ムヘシ但シ正當ノ事由アリテ試驗ニ缺席シタル者ニ對シテハ平素ノ成績ノミヲ考査シテ之ヲ定ムルコトヲ得

試驗ハ學校長ノ見込ニ依リ之ヲ行ハサルコトヲ得

第五十一條　學校長ハ一學年ノ課程ヲ修了セサル生徒ノ學年ヲ進ムルコトヲ得ス

第五十二條　學校長ハ高等學校高等科ヲ卒業シタル者ニハ卒業證書專攻科ヲ卒リタル者ニハ得業證書ヲ尋常科ヲ修了シタル者ニハ修了證書ヲ授與スヘシ

第五十三條　學校長ハ正當ノ事由アリト認メタルトキハ生徒ノ休學ヲ許可スヘシ

第五十四條　學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

一　性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二　學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三　引續キ一年以上缺席シタル者

四　正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者

五　出席常ナラサル者

第五十五條　生徒退學セントスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第五十六條　學校長ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第八章　雜則

第五十八條　高等學校ノ學則中ニ規定スヘキ事項凡左ノ如シ

一　學年學期及休業日ニ關スル事項
二　學科課程教授時數ニ關スル事項
三　課程ノ修了及卒業ノ認定ニ關スル事項
四　生徒ノ入學退學懲戒ニ關スル事項
五　授業料入學料等ニ關スル事項

附則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ高等學校大學豫科ニ在學スル生徒ニシテ大正十年

八月三十一日マテニ卒業セサルヘキモノハ之ヲ高等學校高等科ノ相當學年ニ編入ス

高等中學校規程明治四十一年文部省令第九號高等學校大學豫科入學者無試驗檢定規程及高等學校大學豫科入學者選拔試驗規程ハ之ヲ廢止ス

三　文部省直轄諸學校官制（抄）（明治二十六年勅令第八六號　大正十三年勅令第三九一號改正）

第一條　文部省直轄學校ハ左ノ如シ

○○○○○○○
高知高等學校
○○○○○○○

第六條　文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
教授
生徒監

助教授

書記

第七條　校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條　教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條　生徒監ハ奏任官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒監ハ校長ノ指揮ヲ受ケ專ラ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條　書記ハ判任トス上官ノ命ヲ受ケ庶務會計ニ從事ス

第十七條　專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條　文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

四　文部省直轄諸學校職員定員令（抄）（明治三十五年勅令第九九號　大正十四年四月勅令第一四二號改正）

文部省直轄諸學校專任職員ノ定員左ノ如シ

	校長	教授	助教授	書記
高知高等學校	一	三十人	四人	六人

五　文部省直轄諸學校長職務規程（大正二年文部省訓令號外　大正八年九月號外改正）

第一條　校長ハ判任官ノ進退ヲ具狀シ及高等官ノ進退ニ付意見ヲ具ヘテ文部大臣ニ稟申スルコトヲ得

第二條　校長事故アルトキハ文部大臣ノ許可ヲ經テ高等官ヲシテ其ノ事務ヲ代理セシムルコトヲ得

第三條　左ノ事故ハ校長之ヲ專行スヘシ但シ第六號及第八號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ

第一　教官ノ學科擔任及事務員ノ分課ヲ定ムルコト
第二　規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコト
第三　俸給月額八拾五圓以下ノ雇員ノ進退ニ關スルコト
第四　教官以下ノ內國各地出張ニ關スルコト
第五　教官以下ノ除服出仕請暇ニ關スルコト
第六　講師ノ解囑及其ノ報酬減額ニ關スルコト
第七　經費中ノ目ヲ流用スルコト
第八　三日以內ノ臨時休業ヲ爲スコト
第四條　前條ニ揭ケタル事項ノ外文部大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ

六　高等學校教員規程

（大正八年文部省令第十號大正八年文部省令第四十號大正九年文部省令第十三號大正十年文部省令第三十三號三十九號大正十五年文部省令第二十九號改正）

第一條　高等學校高等科教員免許狀ハ本令ノ定ムル所ニ依リ教員檢定ニ合格シタル者ニ之ヲ授與ス

第二條　第九條第二號ニ該當スル者ニシテ高等學校高等科教員養成ニ關スル規定ニ依リ教員タルノ義務ヲ有スル者ハ教員檢定ニ合格シタル者ト看做ス文部省外國留學生規程ニ依リ高等學校高等科教員タルノ義務ヲ有スル者亦同シ
第三條　第一條ノ免許狀及中學校教員免許狀ハ當該學科目ニ關シ高等學校尋常科教員免許狀タルノ効力ヲ有ス
第四條　教員檢定ハ受驗者ノ學力性行身體ニ就キ之ヲ行フ
第五條　檢定ヲ爲スヘキ學科目左ノ如シ

修身　國語　漢文　英語　佛語　獨語　日本史及東洋史　西洋史
地理　哲學概說　心理及論理　法制及經濟　數學　物理　化學　植物　動物　地質及鑛物　圖畫

前項ノ學科目ニ就キ試驗檢定ヲ行フ場合ニ於テ第九條第六號ノ受驗者ニ對シテハ檢定ヲ受ケントスル學科目ニ併セ本人ノ選擇ニ依リ英

語佛語獨語ノ中一科目ニ就キ其ノ學力ヲ試驗スルモノトス但シ本人カ英語佛語又ハ獨語ニ付中學校教員免許狀ヲ有スルトキ又ハ檢定ヲ受ケントスル學科目カ英語佛語獨語ノ中一ナルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六條　試驗檢定ヲ行フ場合ニ於テハ受驗者出願ノ學科目ノ試驗ニ附隨シ其ノ教授法ヲ試驗スルモノトス

第七條　試驗檢定ハ毎年少クトモ一回之ヲ行ヒ無試驗檢定ハ隨時之ヲ行フ

試驗檢定ノ出願期限及試驗ヲ行フヘキ學科目ハ文部大臣之ヲ告示シ試驗施行ノ期日及試驗ヲ行フヘキ場所ハ教員檢定委員會長之ヲ公告ス

第八條　檢定ヲ受ケントスル者ハ願書（第一號書式略）ニ左ノ書類ヲ添ヘ試驗檢定ニ在リテハ住居地ノ地方廳ヲ經由シ無試驗檢定ニ在リテハ住居地ノ地方廳若ハ當該學校ヲ經由シ文部大臣ニ出願スヘシ

一履歷書（第二號書式略）及學業證書若ハ免許狀ノ寫

二第九條第二號乃至第五號ニ該當スル者ニ在リテハ當該學校長ノ證明書（第三號書式略）

三醫師ノ身體檢查書（第四號書式略）

地方長官又ハ當該學校長ハ本人ノ性行ニ就キ意見ヲ具申スルコトヲ要ス

四戶籍抄本

第九條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ試驗檢定ヲ受クルコトヲ得

一學位ヲ有スル者

二大學ヲ卒業シタル者又ハ大學ニ於テ試驗ニ合格シ學士ト稱スルコトヲ得ル者

三高等師範學校ヲ卒業シタル者但シ修業年限二年ノモノヲ除ク

四專門學校本科又ハ神宮皇學館本科ヲ卒業シタル者

五高等學校大學豫科又ハ學習院高等科ヲ卒業シタル者
六當該學科目ニ關シ中學校教員免許狀ヲ有スル者
七外國ニ於テ高等學校ニ準スヘキ學校ヲ卒業シタル者
八外國ニ於テ大學若ハ之ニ準スヘキ學校ニ入リ學位若ハ卒業證書ヲ有スル者
九五年以上大學、大學豫科、高等學校專門學校、又ハ之ニ準スヘキ學校ノ教員タリシ者

前項第九號專門學校ニ準スヘキ學校ハ文部大臣之ヲ指定ス

第十條　左ノ各号ノ一ニ該當スル者ハ文部大臣ノ適當ト認メタル學科目ニ關シ無試驗檢定ヲ受クルコトヲ得
一前條第一項第一號第二號及第九號ニ該當スル者
二高等師範學校專攻科若ハ之ニ準スヘキ學校ヲ卒業シタル者
三元東京高等商業學校專攻部ヲ卒業シタル者

四本邦ニ於テ高等學校若ハ之ニ準スヘキ學校ヲ卒業シ又ハ外國ニ於テ高等學校ニ準スヘキ學校ヲ卒業シ更ニ外國ニ於テ大學若ハ之ニ準スヘキ學校ニ入リ學位又ハ卒業証書ヲ有スル者

第十一條　不正ノ方法ニ依リ試驗ヲ受ケントシタル者及試驗ニ關スル規定ニ違背シタル者ハ試驗ヲ受クルコトヲ得ス
檢定ニ合格シタル後前項ノ事實發覺シタルトキハ其ノ合格ヲ無効トス

第十二條　高等學校專攻科教員ニ付テハ免許狀ヲ要セス
公立及私立ノ高等學校ニ於テ專攻科教員ヲ採用セントスルトキハ擔任學科目本人ノ履歷書及戸籍抄本ヲ具シ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十三條　高等學校高等科ニ於テハ教員數ノ三分ノ一以内ヲ限リ高等科教員免許狀ヲ有セサル者ヲ以テ教員ニ充ツルコトヲ得

第十四條　體操ニ關シテハ高等科教員免許狀ヲ要セス

第十五條　高等學校高等科ニ於テ體操ヲ擔任スル教員ハ第十三條ノ關

係ニ付テハ高等科教員免許狀ヲ有スル者ト看做ス

第十六條　公立及私立ノ高等學校ニ於テ第十三條ノ規定ニ依リ高等科教員免許狀ヲ有セサル者ヲ教員ニ採用セントスルトキハ擔任學科目本人ノ履歷書及戸籍抄本ヲ具シ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ規定ハ體操ヲ擔任スル教員ノ採用ニ關シ之ヲ準用ス

第十七條　高等學校尋常科ニ於テハ教員數ノ三分ノ一以内ヲ限リ第三條ノ教員免許狀ヲ有セサル者ヲ以テ教員ニ充ツルコトヲ得

附則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ後三年間ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ第十三條ノ制限ヲ超エ高等科教員免許狀ヲ有セサル者ヲ教員ニ採用スルコトヲ得

本令施行前文部省直轄學校ノ勅任又ハ奏任ノ教官タリシ者ハ高等科教員免許狀ヲ有スル者ト看做ス

第一號書式（用紙美濃紙）

高等學校高等科教員檢定願

本籍

現住所

受驗資格

族籍

氏名

年月日生

（印）

收入印紙

學科目

第五條第二項ノ選擇外國語

私儀高等學校高等科教員志願ニ付前記學科目ノ試驗（無試驗）檢定相受度此段相願候也

年月日

右

文部大臣宛

（記載注意）

一族稱ハ華士族ニ限リ記載スヘシ

二受驗資格ハ最主要ノ事項ノミヲ記載スヘシ

三出願者氏名ノ漢字ニハ振假名ヲ附スヘシ

第二號書式（用紙美濃紙）

履歷書

氏名印

年月日生

學業

一年月日　何學校何科第何學年ニ入學、年月日卒業

一年月日　何教員免許狀受領

業務

一年月日　何官職拜命若ハ何業ニ從事、年月日何事由ニ依リ退職若ハ廢業

賞罰

一年月日　何事由ニ依リ何賞若ハ何罰ヲ受ク

一年月日　何事由ニ依リ何ト改氏名等

以上

年月日

右

氏名印

（記載注意）

一學業ハ受驗資格ニ關係アル事項ニ限リ記載スヘシ

二教員免許狀ハ別紙ニ其ノ寫ヲ添付スヘシ

三業務ハ現在若ハ最近ノ經歷ニ限リ記載スヘシ
四賞罰ハ經歷上特ニ重要ナル事項ニ限リ記載スヘシ
五身上ニ關スル事項ハ族稱氏名等ノ變更等身上ノ異動ヲ詳記スヘシ

第三號書式(用紙美濃紙)

證明書

本籍
氏名
年月日生

右ハ年月日本學(校館所)何部(科)第何學年ニ入學シ年月日同部(科)ヲ卒業セシ者(試驗ニ合格シ學士ト稱スルコトヲ得ル者)ナルコトヲ證明ス

年月日

何學(校、館、所)長氏名印

第四號書式(用紙美濃紙)

身體檢查書

現住所
氏名
年月日生

一體格
一身長
一體重
一胸圍
一中心視力
色盲
眼病

一　聽　力
　　耳　疾
一　呼　吸　器
一　神　經　系
一　皮　膚
一　言　語
一　既往現在ノ疾病又ハ畸形

右檢查候處相違無之候也

年　月　日　檢　查

現住所
醫師　氏　名　印

（記載注意）

檢查ノ表記及身長體重胸圍聽力等ノ檢查方法ハ明治三十三年文部

省令第四號學生生徒及幼兒身體檢查規程ニ準據スヘシ

七　帝國大學官立大學及文部省直轄諸學校雇外國人使用ニ關スル件（明治二十六年勅令第九十六號　大正九年勅令第七四號改正）

帝國大學官立大學及文部省直轄諸學校ニ於テ學科教授ノ必要アルトキハ帝國大學總長、官立大學長及直轄諸學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ雇外國人ヲシテ教官ノ職務ニ當ラシムルコトヲ得（大正八年文部省令第十四號　大正十年文部省令第四十五號　大正十四年文部省令第四十二號　大正十五年文部省令第三十四號改正）

八　官立高等學校高等科入學者選拔試驗規程

第一條　入學志願者ノ數當該高等學校生徒募集人員ニ超過シタルトキハ選拔試驗ヲ行フ

第二條　各高等學校ニ入學セシムヘキ生徒ノ概數選拔試驗ニ關スル細目及出願ノ手續等ハ其ノ都度文部大臣之ヲ告示ス

第三條　選拔試驗ノ學科目ハ中學校第四學年マテノ必修學科目中ニ就キ之ヲ選定ス但シ外國語ハ英語獨語及佛語ノ中本人ヲシテ其ノ一ヲ

選ハシム

前項ノ試驗ハ中學校第四學年修了ノ程度ニ依ル

第四條　選拔試驗ハ高等學校ヲ二班ニ分チテ之ヲ行フ

第五條　入學志願者ハ志望學校トシテ一校ヲ指定シ又ハ他班ニ屬スル一校ヲ併セ二校ヲ指定スルコトヲ得二校ヲ指定スル場合ニ於テハ其ノ志望ノ順位ヲ定ムヘシ

第六條　入學志願者ハ其ノ入學後修業セントスル科及類ヲ指定スヘシ但シ志望學校二校ノ場合ニ於テハ各異ナル科ヲ指定スルコトヲ得ス指定スヘキ科及類ハ左ノ如シ

文科甲類　英語ヲ第一外國語トスルモノ

文科乙類　獨語ヲ第一外國語トスルモノ

文科丙類　佛語ヲ第一外國語トスルモノ

理科甲類　英語ヲ第一外國語トスルモノ

理科乙類　獨語ヲ第一外國語トスルモノ

理科丙類　佛語ヲ第一外國語トスルモノ

選拔試驗ノ外國語ニ英語ヲ選フ者ハ志望ノ類二箇以上（同一科內ノ類ニ限ル）ヲ併セ指定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ志望ノ類ノ順位ヲ定ムヘシ獨語ヲ選フ者ノ志望シ得ル類ハ文科乙類又ハ理科乙類ニ限リ佛語ヲ選フ者ノ志望シ得ル類ハ文科丙類又ハ理科丙類ニ限ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

高等學校高等科入學資格試驗規程

（大正八年文部省令第九號
大正十五年文部省令第七號改正）

九　高等學校高等科入學資格試驗規程

第一條　高等學校規程第四十三條ノ高等學校高等科入學資格試驗ヲ受ケントスル者ハ年齡十六年以上ノ男子ニシテ身體健全品行方正且現ニ中學校ニ在學セサル者タルヘシ

第二條　高等學校高等科入學資格試驗ハ文部大臣ノ指定シタル中學校ニ於テ便宜之ヲ行フ

第三條　試驗ハ中學校第四學年マテノ必須各學科目ニ就キ第四學年修了ノ程度ニ依リ之ヲ行フヘシ

第四條　專門學校入學者檢定規程第七條第二項又ハ大正七年文部省令第三號第六條第二項ニ依ル證明書ヲ有スル者ニシテ試驗ヲ出願シタルトキハ當該學科目ノ試驗ヲ免除ス專門學校入學者檢定規程第八條ニ依リ試驗ヲ免除セラルル者ニ付亦同シ

第五條　中學校ニ於テハ高等學校高等科入學資格試驗ニ合格シタル者ニ合格證書ヲ交付スヘシ

第六條　高等學校高等科入學資格試驗ノ問題答案及成績表ハ五年以上保存スヘシ

第七條　中學校ニ於テハ本令ノ試驗ニ付試驗手數料ヲ徵收スルコトヲ得

附　則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十五年文部省令第七號附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

一〇　文部省直轄諸學校生徒ノ學校長ノ許可ナクシテ受ケタル他ノ直轄諸學校ノ入學試驗無效ニ關スル件（明治三十八年文部省令第十八號）

文部省直轄諸學校ノ生徒ニシテ豫メ學校長ノ許可ヲ受ケス他ノ文部省直轄諸學校ノ入學試驗ヲ受ケタルトキハ其ノ入學試驗ハ無效トス

一一　文部省直轄學校外國人特別入學規程（明治三十四年文部省令第十五號）

第一條　外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規程ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若ハ數科ノ敎授ヲ受ケントスル者ハ外務省在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限リ特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條　前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若ハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條　帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限リ之ヲ許可スヘシ

但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限ニアラス

第四條　本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試驗ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條　本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試驗料入學料及授業料ヲ徵收セサルコトヲ得

第六條　帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

附　則

第七條　本令施行ノ際文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス在學スル外國人ハ本令ニ依リ入學シタルモノト看做ス

第八條　明治三十三年文部省令第十一號文部省直轄學校外國委託生ニ關スル規程ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

一二　臺灣人朝鮮人文部省直轄諸學校入學

ハ外國人特別入學規程準用（明治四十四年文部省令第十六號）

文部省直轄學校外國人特別入學規程ハ臺灣人若クハ朝鮮人ニ之ヲ準用ス但シ其ノ入學ニ關シテハ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介ヲ要ス

（明治四十四年十月六日官普一〇四號ヲ以テ朝鮮留學生監督ノ紹介ヲ以テ總督府ノ紹介ト見做ノ通牒アリ）
（大正元年十一月十六日發普二三六號ヲ以テ臺灣留學生監督ノ紹介ヲ以テ總督府ノ紹介ト見做ス通牒アリ）

一三　高等學校高等科學力檢定規程（大正十年文部省訓令號外）

第一條　高等學校高等科學力檢定試驗ハ帝國大學學部又ハ官立大學ヨリ其ノ入學志願者ノ學力檢定試驗施行ノ通知アリタル場合ニ限リ高等學校ニ於テ施行ス

試驗ハ二月ニ於テ之ヲ施行ス

第二條　試驗ハ高等學校高等科卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行フヘシ高等學校高等科ニ入學スル資格ヲ有セサル者ニハ先ツ中學校第四學年迄ノ必修各學科目ニ就キ第四學年修了ノ程度ニ依ル學力檢定試驗ヲ行フヘシ

第三條　試驗ヲ受ケントスル者ハ受驗料金五圓ヲ納ムヘシ既納ノ受驗料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

第四條　試驗ニ合格シタル者ニハ左式ノ證明書ヲ交付スヘシ

附　則

大學豫科學力檢定規程ハ之ヲ廢止ス

證　明　書

族稱

何某

校印

右ハ當校試驗ノ成績ニ依リ高等科何科ノ卒業ト同等ノ學力アルコトヲ證明ス

年月日　高知高等學校長位勳　氏　名

番號

何年何月生

一四　學生生徒兒童身體檢查規程（抄）（大正十年文部省令第十六號）

第一條　學生生徒兒童身體檢查ハ毎年四月ニ於テ之ヲ施行スヘシ但シ止ムヲ得サル場合ハ五月ニ於テ之ヲ施行スルコトヲ得

監督官廳又ハ學校長ニ於テ必要ト認ムルトキ又ハ學校醫ニ於テ必要ト認メ學校長ノ同意ヲ得タルトキハ身體檢查ノ全部若ハ一部ヲ臨時施行スルコトヲ得

第二條　身體檢查ハ學校醫ヲシテ之ヲ行ハシムヘシ

學校醫ナキ場合若ハ學校醫カ身體檢査ヲ行ヒ難キ事情アルトキハ他ノ醫師ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

學校職員又ハ他ノ適當ナルモノヲシテ身體檢査ノ一部ヲ助ケシムルコトヲ得

第三條　身體檢査ハ左ノ項目ニ就キ施行スヘシ

一發育（身長、體重、胸圍、概評）　二榮養　三脊柱　四視力及屈折狀態

五色神　六眼疾　七聽力　八耳疾　九齒牙　十其ノ他ノ疾病及異常

十一監察ノ要否

前項目ノ外必要ト認メタル事項ハ特ニ檢査ヲ行フコトヲ得

色神檢査ハ在學中一回行ヒタルトキハ其ノ後之ヲ省略スルコトヲ得

第四條　身體檢査ハ左ノ各號ニ準據シテ施行スヘシ

一檢査ノ表記ニハ度ハ尺、衡ハ貫ヲ以テ單位トシ四捨五入法ヲ用ヒテ度ハ分、衡ハ匁ニ止ムヘシ

二身長ヲ測定スルニハ足袋靴等ヲ脫セシメ兩踵ヲ密接シテ直立シ兩上肢ヲ鉛直ニ垂レ頭部ヲ正位ニ保タシムヘシ又女子ニシテ髷アル者ハ小楔ヲ髷下ニ水平ニ挿入レテ測定スヘシ

三體量ハ著衣ノ儘測定シタルトキハ其ノ著衣ノ重量ヲ全重量ヨリ除去スヘシ

四胸圍ハ起立ノ姿勢ニ於テ兩上肢ヲ自然ニ垂レシメ乳頭ノ水平線ニ沿ヒ普通呼氣ノ終レル時ヲ測定スヘシ乳房ノ下垂セル女子ニ在リテハ乳線上第四肋間ノ水平線ニ於テ測定スルモノトス

五發育ノ概評ハ別ニ定ムル標準ニ據リ甲乙丙ノ三ニ分ツモノトス

六榮養ハ甲乙丙ニ分チ其ノ佳良ナルヲ甲トシ不良ナルヲ丙トシ其ノ中間ナルヲ乙トス

七脊柱ハ正、左彎、右彎、前彎後彎ヲ區別シ彎ニ就テハ凡テ其ノ凸側ニ依リテ前後左右ノ方向ヲ表示スルモノトス其ノ程度ハ之ヲ強弱ノ

二種ニ區別シ自己ノ意思ニ依リ容易ニ矯正シ得ルモノヲ弱トシ然ラサルモノヲ強トス

八視力ハ萬國式試視力表ニ就キ兩眼ヲ各別ニ檢査シ裸眼視力ヲ記入スヘシ裸眼視力一、〇以上ナルヲ正視眼トス屈折機ノ異常アルモノハ其ノ種別ヲ記入スヘシ

弱視失明等モ兩眼ニツキ各別ニ記入スヘシ

九色神ハ其ノ異狀アルモノニ就キ色盲及色弱ヲ區別スヘシ

十聽力ハ其ノ障碍ノ有無ヲ檢査スヘシ

十一齒牙ハ齲齒ニ就キ檢査スヘシ

十二其ノ他ノ疾病及異常ハ檢査ノ際發見シタルモノヲ記入スヘシ殊ニ結核性疾患、腺病、肋膜炎、心臟疾患及機能障碍、貧血、脚氣、傳染性皮膚病、腺様增殖症及扁桃線肥大、「ヘルニヤ」、神經衰弱精神障碍ニ注意スヘシ

十三監察ノ要否ハ檢査ノ結果心身ノ健康狀態不良ニシテ學校衛生上特ニ繼續的ニ監察ヲ要スト認ムル者ヲ「要」トシ記入スルモノトス

第五條　第一條第一項ノ身體檢査ヲ施行シタルトキハ其ノ結果ヲ身體檢査票ニ記入シ本人同一種類ノ學校ニ在校中連年之ヲ繼續スヘシ但シ程度ヲ異ニスル學科部類ヲ有スル學校ニ在リテハ其ノ部類毎ニ別票ヲ用フルモノトス

第一條第二項ノ臨時身體檢査ノ際必要ト認ムル事項ヲ發見シタルトキハ之ヲ身體檢査票ノ裏面ニ記入スルモノトス繼續的監察ノ場合亦同シ他校ヨリ轉入シタル者アルトキハ學校長ノ前ノ學校ヨリ其ノ身體檢査票ノ交付ヲ受ケ使用スヘシ

第六條　身體檢査ヲ學校長ニ於テ保管スヘシ

身體檢査票ハ學校長ハ其ノ結果ヲ本人若ハ其ノ保護者ニ示スヘシ授業免除就學猶豫就學免除休學退學又ハ治療保

護矯正等ヲ要スヘキモノアルトキハ本人若ハ其ノ保護者ニ對シテ特ニ注意ヲ與ヘ其ノ他必要ナル處置ヲ取ルヘシ

第七條　第一條第一項ノ身體檢査ヲ施行シタルトキハ學校長ハ身體檢査統計表ヲ調製シ其ノ年六月限リ文部省直轄學校長及公立大學長ニ在リテハ文部大臣ニ其ノ他ノ學校ニ在リテハ地方長官ニ報告スヘシ

地方長官ハ前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ取纏メ其ノ年七月限リ文部大臣ニ報告スヘシ

附　則

本令ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十三年文部省令第四號ハ之ヲ廢止ス

一五　學生生徒兒童身體檢査規程上ノ發育概評決定標準（抄）（大正九年文部省訓令第九號）

學生生徒兒童及幼兒ノ發育概評ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ムルモノトス

一　七年ヨリ十八年マテノ男子七年ヨリ十六年マテノ女子ニアリテハ被檢者ノ身長體重身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商ノ三者カ何レモ左記發育標準表ニ照シテ當該年齡ヨリ一年々長ノモノノ標準以上ナルヲ甲トシ之ニ該當セスシテ一年々少ノモノノ標準以上ナルヲ乙トシ甲乙何レニモ該當セサルモノヲ丙トス

表中ニ揭ケサル年少者ニ關シテハ右ニ準シテ推定スルモノトス

二　十九年以上ノ男子ニアリテハ身長五尺三寸體重十四貫三百匁身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商カ二、七〇以上ナルヲ甲トシ之ニ該當セスシテ身長五尺一寸八分體重十三貫匁身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商カ二、五一以上ナルヲ乙トシ甲乙何レニモ該當セサルヲ丙トス

發育概評決定標準表

年齡	身長	體重	身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商

十六年	五、〇四	一一、八六〇	二、三五
十七年	五、一八	一二、八五〇	二、四八
十八年	五、二五	一三、五三〇	二、五八
十九年	五、二九	一四、〇二〇	二、六五

一六　行幸啓ノ節學生生徒敬禮方

（明治四十三年文部省訓令第十八號　明治四十四年訓令第十一號　大正五年訓令第五號改正）

一武裝携銃ノ場合

學校長及職員ハ全隊ノ右翼ニ指揮者ハ各中隊ノ右翼ニ位置シ豫メ劍ヲ銃ニ裝セシメ前驅ノ見エタルトキ「氣ヲ付ケ」ノ號令ヲ下シ直立不動ノ姿勢ヲ取ラシム御車カ中隊ノ右翼約十歩ニ近キタルトキ「捧銃」ノ號令ニテ一齊ニ捧銃ヲナサシメ御車カ中隊ノ左翼約十歩ヲ過キタルトキ元ノ姿勢ニ復セシム

御車カ中隊ノ左翼ヨリ通過スルトキハ學校長職員及指揮者ハ左翼ニ

位置ス

二武裝セサル場合（女生徒ヲ含ム）

學校長及職員ハ全列ノ右翼ニ指揮者ハ各組ノ右翼ニ位置シ前驅ノ見エタルトキ「氣ヲ付ケ」ノ號令ヲ下シ一齊ニ脫帽セシメ直立不動ノ姿勢ヲ取ラシム御車カ指揮者ノ前ニ達シタルトキ「禮」ノ號令ニテ敬禮セシメ（體ノ上部ヲ約三十度前方ニ屈シ御車ニ注目セシム）「直レ」ノ號令ニテ元ノ姿勢ニ復セシム

御車カ組ノ左翼ヨリ通過スルトキハ學校長職員及指揮者ハ左翼ニ位置ス

一七　徵兵事務條例附則第三項ニ依リ學校長ノ交付スル在學證明書ニ關スル規定（抄）（大正九年文部省訓令第六號）

第一條　徵兵事務條例附則第三項ニ依リ學生生徒ニ在學證明書ヲ交付スルトキハ左ノ書式ニ據ルヘシ（書式略）